

令和 7 年度

雲南市市政懇談会

報 告 書

開 催 月 日	開 催 町	会 場	参加者数
6 月 3 0 日 (月)	大 東 町	大東地域交流センター	3 4 人
7 月 2 日 (水)	掛 合 町	掛合交流センター	4 5 人
7 月 2 4 日 (木)	木 次 町	木次総合センター	2 7 人
7 月 3 0 日 (水)	吉 田 町	田井交流センター	2 8 人
8 月 5 日 (火)	加 茂 町	加茂交流センター	3 3 人
8 月 7 日 (木)	三刀屋町	三刀屋交流センター	2 5 人
計			1 9 2 人

政策企画部広報広聴課

令和7年度市政懇談会報告書目次

令和7年度市政懇談会の開催結果について	P 1
大東町会場（大東地域交流センター）	P 4
加茂町会場（加茂交流センター）	P 9
木次町会場（木次総合センター）	P 14
三刀屋町会場（三刀屋交流センター）	P 20
吉田町会場（田井交流センター）	P 25
掛合会場（掛合交流センター）	P 29
令和7年度市政懇談会等に関するアンケート結果概要	P 33
令和7年度市政懇談会会場コメントカード意見まとめ【会場別】	P 35
令和7年度市政懇談会会場コメントカード意見まとめ【分野別】	P 46
令和7年度市政懇談会の開催状況	P 57

令和7年度市政懇談会の開催結果について

1. 開催の概要

市政懇談会を6月30日から8月7日にかけて昨年度に引き続き各町で開催した。

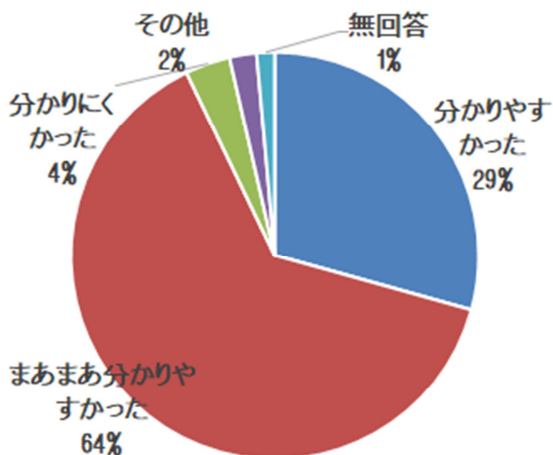
テーマを「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて」として説明し、市内6つの会場で192人の市民の皆様から、様々なご意見ご質問をいただいた。

2. 参加者の状況

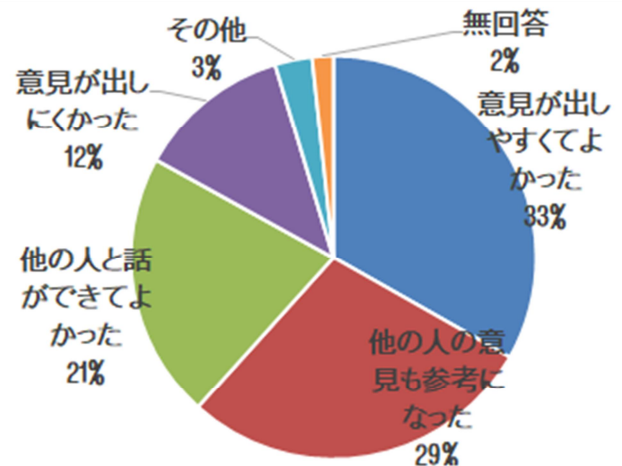
会 場		開 催 日	参加者数
大東会場	大東地域交流センター	令和7年 6月30日 (月)	34人
掛合会場	掛合交流センター	令和7年 7月 2日 (水)	45人
木次会場	木次総合センター	令和7年 7月24日 (木)	27人
吉田会場	田井交流センター	令和7年 7月30日 (水)	28人
加茂会場	加茂交流センター	令和7年 8月 5日 (火)	33人
三刀屋会場	三刀屋交流センター	令和7年 8月 7日 (木)	25人
合 計			192人

3. 参加者アンケート結果

説明内容について



開催方法について



4. 主なご意見 (カード記入による意見提出総数 290 件)

○誰でも安心して暮らせる共生社会の実現について(35件)

- ・地域で障がい者の理解を広めてほしい。
- ・地域で同じ方向を目指す際、世代間での意見交換や交流の機会を持つてはどうか。
- ・外国の方と地域住民が普段からつながりが持てると災害時なども安心されると思います。

○地域づくりについて(113件)

- ・人口が減り自治会機能が果たせなくなっている。それに対する具体的施策は。

- ・高齢者が安心して暮らすため公共交通・買い物・ごみ捨て等のような支援ができそうか。
- ・地域づくりはひとづくり。地域を支える人を育てる意識と体制の充実が必要。

○子育て/教育について（４２件）

- ・若い世代がストレスなく子育てできる環境づくりが必要。
- ・少子化にあって、小中学校の統廃合は考えられないか。
- ・雲南市の子育て環境のPRをしているか。他市や他県に誇れる子育て施策はなにか。

○移住定住/関係人口について（３０件）

- ・空家が増えているが市としてどういう対策、活動をしているか。
- ・交流人口によって、栄えていく気がします。意見交換の重要性を感じます。
- ・Iターン者と地域の人との交流が不足していると思います。誰もが参加しやすい企画を考えていかなければと思います。

○産業/ビジネスについて（２６件）

- ・獣害被害について毎日のように被害の話しを聞く。農業が今後どうなるかが大きな課題であり後継者がいない。
- ・人口減少に歯止めをかけるためには働く場所が必要。企業誘致の方針・施策について考えてほしい。
- ・観光資源の充実による市の収入の増加を図ってはどうか。

○健康/福祉について（１０件）

- ・将来的に介護難民が生じる可能性がある。介護サービスの安定的供給体制の充実が必要。
- ・働く女性の生活・育児を応援するため小児科があるといいです。どんどん病院が少なくなり心配です。

○自然環境/エネルギーについて（７件）

- ・脱炭素関係の事業について市民にわかりやすくていねいに、早めに説明してほしい。

５．まとめ

（１）工夫した点

- ・全ての会場に手話通訳者を配置し、希望者には託児も実施した。
- ・市からの説明を短かくし、参加者同士で意見交換しやすいようグループ配置とし、カード形式で意見が提出できる時間を設け、回収、回答することにより、より多くの方々の意見をいただくことができた。（意見提出総数 290 件）
- ・提出意見を分類し同様意見をまとめ、三役から効率よく回答、説明するよう努めた。
- ・自治会長会、地域自主組織連絡協議会、市報うんなん、雲南夢ネット、音声告知放送、公式LINE、Facebook、市HPなどの方法で周知を行った。

（２）結 果

- ・アンケート結果「分かりやすかった」「まあまあ分かりやすかった」の合計は 93%と高評価

であった。

- ・アンケート結果「開催方法について」の肯定的意見は83%と高評価であった。
- ・カード記入意見総数 290 件、アンケートによる意見 81 件、意見合計 371 件であった。

6. 開催後の対応

- ・アンケートによる回答が必要な意見への回答（14件）。
- ・部長会及び市役所庁内掲示板により意見内容、アンケート・結果を職員周知。
- ・市HPに議事概要等の公表、市政懇談会議事概要を各総合センターで縦覧。
- ・9/24 放送市政情報番組「こんにちは市役所です」のトピックスで報告。
- ・市報うんなん10月号へ開催概要を掲載。

7. 今後に向けて

- ・こうした直接の広聴機会は重要であり、参加者が少人数であったとしても開催していく必要がある。
- ・若者、子育て世代、障がいのある方などあらゆる立場にある人が参加しやすいよう配慮する。
- ・少人数で意見の出しやすい雰囲気で行う「市長と“えすこトーク”」（市長との意見交換会）や市政に関する提案を募集する「市政への提案箱」も引き続き行い、市民の皆様からの意見・要望を市政運営へ反映させるよう取り組む。

誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 女性にとって住みやすいまちとは？現在考えている施策は？「子育てするなら雲南市」というキャッチフレーズがあるが、他市や他県に誇れる子育て施策は。

A1. (市長)

男女共同参画や人権についての施策はもちろん重要であるが、雲南市では女性の子育ての負担軽減を図るという観点から、例えば高校生までの医療費の無償化をしており、また給食費の負担は県内8市で雲南市が一番低く、物価高騰による値上げもしていない。産後ケアの充実にも取り組むなど、経済的負担・精神的負担も含めて、他市に比べると随分取り組みが進んでいる。女性の働く場の確保としては、IT企業の誘致にも積極的に取り組んでいるが、都会のような事務系の総合職を確保するには本社をこちらに誘致しないといけないのでかなり難しい。しかし製造業の世界でも女性が進出している事実を知っていただきたい。女性の働く場所はたくさんあるが、世の中で就きたい仕事が決定的に捉えられているのを変えていく必要もあるのではないかと感じている。女性に選ばれる雲南市になれるような施策を展開していきたい。

Q2. 令和4～6年にかけて急激に外国人住民が増えているが、その要因をどう考えているか。また、外国人との付き合い、特に言葉でのコミュニケーションは田舎では難しそうだが、何か方法は。

A2. (市長)

外国人住民の急増の要因は、市内の製造業における外国人研修生の増加によるもので、この傾向は今後も進むと考えている。製造業、介護現場での外国人の雇用が進んでいる。外国人とのコミュニケーションは難しそうだが、例えば、掛合自治振興会では外国人研修生を招いて皆で一緒にご飯を食べるという取り組みをしている。まずは声をかけて触れ合っていくことからではないかと考えている。日本に来て働いている方は、「やさしい日本語」でゆっくり話せば、コミュニケーションが十分とれるのではないかと考えている。

Q3. 障がい者と健常者のグレーゾーンのこどもたちと関わっているが、支援や施策の網の目からこぼれ落ちており大変である。人を思い、大切にしたい気持ちを育てるための施策が必要。

A3. (教育長)

現在、学校ではインクルーシブ教育と言って、こどもたちが同じ学びの場で学んでいる。そのために、できる限りの合理的配慮をすることになっている。支援を必要とするこどもたちに対しては、雲南市では33名の支援員が各学校に入って、学びの中で困っている子に寄り添っている。また通級指導教室では、学びの仕方や自分の特性を理解する取り組みをしている。これまで通級指導担当者が小学校3名、中学校1名だったが、中学生でも希望者が多かったため県へ要望し、1名増えている。他市ではあまりないが、雲南市にはLD教室（注1）がある。文字だけが苦手、数だけが苦手というような特性のあるLDのこどもたちのためのLD教室を作って対応している。まだ十分ではないが、できることからしっかりやっていこうと思っている。人を思い、大切にしたい気持ちを育てる具体的な施策については、学校では道徳が教科に代わり、しっかり力を入れて、人の思いや自分の思いを伝えられる場を作っている。感謝の手紙というカタチで、色んな人に感謝を伝える場を設けてやり取りをする事業にも取り組んでいる。様々な活動の中で思いを伝えるということは大切なことなので、学校だけでなく、社会や社会教育の場でもしっかりとそのような場を作っていきたい。

（注1）LD：学習障がい。雲南市では小中学生を対象としたLD教室「まなびい」を開設している。

Q4. 手話言語施策推進法と手話言語法は同じ内容か？地域で障がい者の理解を広めてほしい。

A4. (市長)

手話言語法は、正確には手話に関する施策の推進に関する法律である。全国ろうあ連盟が、今回の手話に関する施策の推進に関する法律に関して、手話言語法とほぼ同じ目的を持った法令であるという評価をいただき、手話言語条例が私たちをなしたものだとの認識をしている。そうした中で、市は普及啓発にもしっかりと取り組んでいきたい。本日、防災ラジオの字が読みにくい、病院の中に電光掲示板がほしいというようなたくさんの具体的な要望をいただいた。今日個別に回答することはできないが、それぞれ関係部署に伝えて、一つ一つ改善していけるようしっかりと検討を進めていきたい。

Q5. 雲南市に住む若者が今後どうしたいのか、どのようになればもっと良くなっているのかを考えることが必要ではないか。若い人の共生社会への思いをつくるには時間が必要。継続が必要である。

A5. (市長)

世代間における共生、意思疎通の重要性をご指摘いただいた。その課題感を非常に持っている。双方からの歩み寄りが必要ではないかと考えている。今回、第3次雲南市総合計画を作るときには、あえて年齢構成にも配慮し、若い方々の意見をできるだけ出してもらった。若い方の話も聞くという姿勢をもって、自治会での会合などに臨んだり、施策として若い方との意見交換を進めることは重要だが、基本となるのは地域での活動の中で信頼感を醸成していくことが大事だと思っている。Iターンの方とのコミュニケーションについてもお互いに認め合っていくこと、干渉しすぎないということを、どう地域の中で共有していくか、広めていくかということに尽きる。地域や地域自主組織を通じて継続的に続け、醸成していく取り組みが必要だと考えている。

その他市政全般について

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 人口減少に歯止めをかけるには、働く場所の確保が必要だと考える。企業誘致などの施策について教えてほしい。対外的に雲南市のアピールポイントは何か？

A1. (市長)

企業誘致においての一番のアピールポイントは人材。ベンチャー企業であれば、応援してくれる人がみつかる、大企業であれば、地域のつながりを活用しながら、求人にもしっかりと応えていくことができるということが大きなうり。自治会など田舎での人間関係をマイナスに捉えられがちだが、それが失われている都会からみるとそれが一つの魅力になる。田舎の良さとしてアピールしていきたい。そういったことから、地域自主組織の活動や地域での活動をしっかり支援していきたい。

Q2. 市の道路愛護作業を1回から2回に増やした説明が不足している。なぜ2回なのか。どこの道路を掃除してほしいのか。任意の協力であることの説明は？無償でしなければならないのか。

A2. (市長)

昔からあったお付き合いや自治会の活動が地域を維持する力になっているというプラスの半面、一方ではそれが負担に感じられて、もう少し減らせないかと感じている方もいる。ここを行政がこうだと決めるのは非常に難しい。地域ごとの考え方があり、人によっても考え方が違うので、どうやっていくのかということが重要ではないか。しっかり話し合い、認識をできるだけ擦り合わせていく努力が必要ではないかと思っている。草刈りを行政でやってほしいとよく

要望を頂くが、行政が草刈りをすべてやると他の施策ができなくなる。例えば、高校までの医療費の無償化をやめて、草刈りにつき込むのか考えてみていただきたい。自分の周りの環境をよくする活動をしていただくことで、他の施策としっかりと向き合うことができる。市民と一緒に作っていくというまちづくりのために、可能なことはできるだけ取り組んでいただきたいというのが市としてのスタンスでありお願いしたいところである。高齢者が非常に多くなり自治会では難しいという場合は、市として支援できることについて個別に相談させていただきたい。我が地域は自分たちでよくしていくという共通のご理解をいただければありがたい。

※道路河川愛護作業：市では自治会等の地域団体がボランティアで実施する道路、河川の清掃、維持及び管理作業等の活動について年2回の実施時期に行われた作業に対し交付金を交付している。

Q3. 生活道の除雪と改修を考えてほしい。市道拡幅工事など工期が大幅に遅れている工事があるので、予算が膨らむ一方のようでもあり、早期に終わらせていただきたい。水道の整備がされていない地域があり、この夏の水不足が心配。

A3. (市長)

インフラの整備にはかなりの費用がかかるので、基本的には国や県から財源を調達しながら進めている。例えば市道については社会資本整備交付金という国のお金をもらってやっているが、それでも財源が要望に応えられるほど十分でない。何とか改善するために、国や県に地域の実態や整備の必要性をしっかりと訴えていかないといけないと考えている。全ての要望に応えられないことや事業が進まないことでご不便をおかけしているがご理解いただきたい。

Q4. エネルギー政策を市が強力に進め、市民の理解を深めることについてのタイムスケジュールを明確にしてほしい。

A4. (市長)

本日、家庭から出た廃食油をディーゼルエンジンの燃料に使うための協定を結んで、雲南市と企業が共通してやっている。また今年度、地域電力会社を作って公共施設の屋根に太陽光パネルを設置して発電し、余った電気を売っていこうという取り組みもスタートした。また尾原ダムを使って発電していこうという試みもされている。ロードマップについては、再生可能エネルギーの計画を作っても実際に取り組むのは市民の皆さまであったり個別の施設であったりするので、なかなか難しいが、2050年にCO2排出ゼロを目指して取り組みを進めている。それぞれの取り組みについては、市民の皆さまにご協力をお願いさせていただきながら進めていきたい。

Q5. 空き家対策として借家を進めることを柱として事業展開し、地区・対象を絞り込んで、市の直接的な事業として専門化してもらいたい。

A5. (市長)

空き家問題には大きく分けて2つある。1つは、危険になってしまい利用価値のない空き家をどう除却していくかという問題。もう1つは、まだ使える家をどのように利活用していくかという問題。除却については、個人の資産であるので、できる限り個人が責任をもって処理してもらうよう国の制度を使いながら支援していく取り組みがある。また、本来はするべきではないが、それがかなわない場合は、行政が除却をして本人にお金をご負担いただく代執行という制度もあり、一定の道筋はできている。一方で、空き家を活用するとなると色々と難しいところもあるが、一番問題となるのは家財整理にお金がかかること。今年度から家財整理に対する補助金の上限額を倍の10万円に引き上げる取り組みをしている。また、モデル事業として木次町で地域自主組織やIターンの建築家の方と一緒に、空き家をリノベーションしレンタルオフィスにしたりお店を誘致したりして活用する取り組みを進めている。ひとつのモデルとして、他の中心市街地でも展開できないか、今年度検証しながら進めていく考えである。大きな問題であるがチャレンジしながら進めていきたい。

Q 6. 捕獲した猪の処理や埋葬を行う施設を整備する考えはないか。捕獲後のことまで考えてほしい。

A 6. (市長)

非常に重要な課題だと認識している。現在は猪を捕獲した場合、基本的には個人で穴を掘って埋められているのがほとんどである。捕獲した猪を何とか有効活用しようと、ジビエとして流通させようという取り組みを進めている。食肉として流通させることができれば望ましいが、全てというわけにはいかない。処理施設については検討しなければならないが、現在進めているごみの焼却施設との関係性の整理も進めていかなければいけない。現状では明確な回答はできないが、大きな問題と認識しているので、もうしばらく時間をいただきたい。

Q 7. 現在、民生委員の選考に苦勞している。民生委員の業務も多く、負担に感じられているのではないか。サポートするシステムはできないか。

A 7. (市長)

ちょうど民生委員改選の時期であり、ご尽力いただいていることに感謝申し上げる。民生委員の負担が大きいことをまずは改善していかないと、自ら手をあげていただける方が少ないのが現状であることも認識している。民生委員・児童委員の皆様には責任感を持って業務に当たっていただき、大変感謝しているところだが、そもそも民生委員・児童委員さんの役割は行政との橋渡し、パイプ役であるので、あまりご負担に感じられなく、まずは窓口として相談に乗っていただき、何かあれば行政につないで頂きたい。負担そのものを減らしていこうという話し合いや努力もしている。何か質問や疑問があれば、遠慮なく市役所へ問い合わせいただければご説明等させていただくので協力お願いしたい。

Q 8. 耕作されていない土地が多くなっている 民間の会社の太陽光発電に規制が必要ではないか。

A 8. (市長)

条例等で規制している自治体もある。十分に検討していく必要はあるが、現状においては、農地転用の手続きの中で十分な地元への説明がされているのかという点を確認する。地域の中で例えば問題があると認識され、なかなか合意が得られない場合は、農地の転用に当たって十分にその点が考慮される。そのような取り組みをする中で、どこまで規制が必要かについて今後検討が必要ではないかと感じている。一方で再生可能エネルギーを普及あるいは拡大していかなければならないという思いもあり、そのバランスを取っていかなければいけないので、ご意見をいただきながら推進していきたい。

Q 9. 先日、家庭から出た油を出雲空港において活用しようというニュースを見たが、何に使われているのか。

A 9. (市長)

先ほど本日協定を結んだと説明させていただいた取り組みで、廃食油をディーゼルエンジンの燃料として使うという取り組みの実験段階として、空港のトーイングトラクターに使用したというもの。実際に十分に利用できるということが実証できた。廃食油を集める取り組みでは皆さんに協力をお願いしたいと思っている。

Q 10. 先ほど CO2 削減について説明があった。それに付随して、職員のほとんどの方がマイカーで通勤していると思うが、なぜ職員が率先して木次線を利用しないのか。公務員は定時の勤務が原則だと思うので、雲南市の職員だけでなく、島根県職員や松江市職員にもっと利用してくださいというお願いすることができないのか検討していただきたい。

A10. (市長)

職員に利用の呼びかけはしているが、実際のところ、なかなか木次線に乗り換える人がいないという状況である。途中で子どもを迎えに行きたい、買い物をして帰りたいなどの色々な理由があるが、木次線や市民バスなどの公共交通機関を使っていきたいという声掛けは重要だと思っている。フレックスタイムを使いながら、木次線での通勤ができないか工夫しながら、これからも働きかけをしていきたい。今年度から、出雲大東駅から大東高校まで市民バスを走らせたことで、高校生の木次線利用がどんと増えた。今までは木次線を使わずに通学していた人が利用するようになり、さらに木次線の定期を買ってもらおうと市民バスの定期券が無料としたところ、利用が非常に増えた。利便性をしっかり確保することで、普段から使ってもらえるよう、ねばり強く取り組みを図っていきたい。

Q11. みかたネットというグレーゾーンのこどもさんに関わる活動をしている。皆さんにお聞きしたいが、大東町内で大東高校の他に高校生を受け入れている施設があることをご存知か？みかた麴杜高等学院という小さな通信制高校のサポート校があり、掛合分校、宍道高校もしんどかった、でも養護学校高等部でもないというこどもさんが高校卒業資格を取得するための最後の砦として、主にLDのこどもさんの支援をしている。LDのこどもたちが学べ、高校卒業資格が取得する場として、雲南市だけでなく奥出雲町、松江市、出雲市辺りから在籍しているが、保護者から「通うのが大変」「通えたら行かせたい」という意見を聞く。転居を考えている保護者もいる。大東高校生のための寄宿舎ができたが、空きがあったら大東高校生に限らず、県立の高校生に限るという枠組みを外して受け入れていたきたい。

A11. (市長)

大東高校の寄宿舎は食事の提供や舎監といった部分で、地域の皆さんにお世話になりながら運営している。制度的にできないということの前に、掛合分校の寮は先生が入らないと生活の管理やサポートが困難であるという判断のもとに、必ず先生が舎監に入るということにされている。そういった意味も含めて、大東高校の場合は舎監も含めて住民の皆さんであるということから、受け入れに当たっては現状としてある程度のハードルがある。ニーズはお伺いしたが、現状では受け入れはなかなか難しい。入られるこどもさんに対してどのようにサポートしていけるのか、そういったことも含めて今後議論させていただきたい。まずは実態を聞かせていただけてありがたい。

誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 手話通訳者を増やす、手話を正しく広めて欲しい。手話通訳者のいる行事を増やして欲しい。

A1. (市長)

先日も雲南市聴障者協会の皆さんと意見交換をした。手話通訳者を増やす施策、学校等で手話に触れる機会を通じて手話を広める施策には取り組んでいきたい。

その他市政全般について

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 人口減少（若年層の都市部への流出）の原因は何で、地方に責任があるのか？また、少子高齢化、UI ターン施策について、どのような対策を講じるのか。

A1. (市長)

これまでの日本の発展の形として、大学や大企業が東京など一局に集中するのを良しとする価値観があり、若者がそこに憧れて都会に出ていくという流れがあったことが大きな原因である。先ずは国政において国土の均衡ある発展東京一局集中の解消を行う必要がある。また加茂は雲南市の中でも利便性の高い地域なので、さらに渋滞の緩和など交通の利便性について取り組みたい。まずは柳橋の改良について計画が進みつつある。さらに企業誘致にも取り組むが、現在課題は働く人の確保である。よってUI ターン対策、女性を呼び込む施策に取り組んでいく。

Q2. 空き家の活用、対策をどのように考えているのか。

A2. (市長)

空き家の対策は大きく分けて2つの方向性がある。①空き家の活用②危険な空き家の除去であり、空き家の除去については法律を適用し、また補助制度を活用して危険な状態から解消していく方法。そして活用については空き家バンクを運営しており、空き家を登録するが、なかなか思うように進まないケースが多い。理由としては家財道具の整理が進まないため。その対策として空き家の家財整理に係る補助制度を設けており、補助の上限を今年度から倍にして充実させた。空き家の流通を推進していきたい。

Q3. 自治会に加入しない人がいる中で、地域づくりをどう考えるのか。地域自主組織に求められる役割とは何か。

A3. (市長)

自治会未加入については特に町部で課題となっている。加入を強制はできないが、そうした中でもごみ出しやこどもの見守り等を通じ地域の方となんらかの形で関わりを持って頂くようご理解頂くのが重要と感じる。ある地域では新たな住宅団地について自治会、地域自主組織への加入についてねばり強く働きかけをされ、少しずつ進んでいるケースがある。また地域自主組織でイベント等を開催されたり、各自主組織ではそれぞれの地域課題について工夫をし、活動し

<p>ておられることに感謝している。</p>
<p>Q 4. 透析患者が多くなり健康推進は大丈夫か。高齢者一人暮らし世帯の安否確認システムをつくってはどうか。</p> <p>A 4. (市長)</p> <p>透析対応の医療機関が1箇所なくなったが平成記念病院と雲南市立病院で一定の受入対応を確保している。高齢者の見守りのやり方には様々あるが一例として、水道メーター検針の際に安否確認をしている地域がある。またある地域では、郵便物の配達の際に一声かけるようにしているケースもある。ご提案として受け止めたい。</p>
<p>Q 5. 遠距離通学小学生のバス通学活用について。</p> <p>A 5. (教育長)</p> <p>現在加茂町内では遠距離通学の児童がいる。1・2年生はバスに乗れるがそれ以上になると乗れなくなると要望も頂いている。1・2年生は7月から9月中旬までは臨時バスを走らせ猛暑の中歩いて帰らなくていいように対応している。遠距離児童について徐々にバス通学可能範囲を中学年まで広げていけるよう臨時便等増やしていきたい。また市民バスとの混乗についても時間帯が上手く合わず調整が可能かどうか検討中。</p>
<p>Q 6. 小中学校の統廃合について</p> <p>A 6. (教育長)</p> <p>今後全ての地域でこどもが減っていく。統合の議論も必要であるが地域のコミュニティの核としての学校の在り方の検討と、統合を進めるばかりでなく「少人数で学ぶ良さ」をメリット、デメリットも含めて検証していきたい。</p>
<p>Q 7. 中学生に平等な教育環境を</p> <p>A 7. (教育長)</p> <p>現在 ICT を活用し、小規模校でも学びを充実させている。小さな中学校でも進路や学校生活が充実するよう ICT を活用したり地域の方の協力を得ながら進めているところである。</p>
<p>Q 8. 小中学校の校舎の老朽化対応について</p> <p>A 8. (教育長)</p> <p>校舎について概ね 60 年が基準。雲南市の学校施設整備保全計画では、本体の健全性と老朽化を併せて検討していくこととなる。現在まずは本次中学校を改修予定。その次加茂小学校、加茂中学校と考えており健全性と耐力度をどうすべきかどのような改修をするのか検討していくこととなる。現在の学校の耐震性は大丈夫かとの意見があったが、耐震基準は満たしている。</p>
<p>Q 9. 加茂小学の体育館のトイレが壊れていて、こどもたちが加茂交流センターにトイレを借りに行っている。早急に対応してもらいたい。</p> <p>A 9. (教育長)</p> <p>詳細を確認の上、早急に対応したい。</p>

Q10. 雲南市建設部より除雪機を2台貸与いただいている。通学路にのみ使用と決められているので撤廃していただきたい。

A10. (市長)

今、道路の通学路の除雪をお願いしている中でそれに対する支援として進めている。他の目的に使う事で、本来の目的に使えないことがあっては困る。こういったご意見があったことを担当部局に伝え、検討はさせていただきたい。

Q11. 河川の浚渫をしてほしい。道路の影切りについて

A11. (市長)

赤川の浚渫については多くの要望をもらっている。河川の多くが県管理河川であり、県の基準がありなかなか対応して頂けない実態がある。これからも要望を続けていきたい。市管理については様子を見ながら適切に対応したい。木の伐採については道路の建築限界の影切りは行うが、すぐ伸びるのが実態であり、木の所有者により伐採頂くよう協力を得ていきたい。

Q12. 農地の荒廃、有害鳥獣対策、農業の水不足への支援策の充実について。

A12. (市長)

昨年の米不足を踏まえ国が米増産に大きく方針転換したが、中山間地域では低コストの米を作るには圃場が小さいところが多く不向き。中山間直接支払制度の充実を求めている。猪除けのワイヤーメッシュや電気柵の助成、通年の駆除にも取り組む。被害を無くすことは出来ないが可能な対策を行う。水不足支援について今回市の支援は軽易な対策、市の支援を超える対策は県が新たに設けたので相談いただきたい。

Q13. 木次線についてどう考えていくか 協議状況は。

A13. (市長)

木次線について JR から申し入れや協議についてはない状況。現在は木次線の利活用について JR の協力を求めながら乗られる方を増やす取り組み、木次線の意義を知って頂く取り組みを行っている。芸備線の協議状況にも注視していく。以前のように地元の合意無くして JR は路線を無くすことは出来ないのも木次線の活用、充実を行い存続について主張をしていきたい。

Q14. 脱炭素は全市をあげて取り組むべきではないのか。

A14. (市長)

おっしゃるとおり。全国の先行地域に選ばれるために現在作戦を練っているところ。具体について未だ話せないが出来た際には協力頂きたい。

Q15. 消防団員の勧誘を市からしてもらえないか。

A15. (市長)

消防団員の確保には地域で苦勞されている。報酬金額を上げる等消防団員の処遇改善に努めているが消防団幹部とも協議しながら確保について検討していきたい。

Q16. 若手・中堅職員の離職が多い。また、全体的に職員が足りていないのではないか。

A16. (副市長)

離職の理由は家庭の事情や健康問題等、理由はさまざまで一概には言えない。他の自治体でも、同じように若手～中堅職員の離職が増加しているようだ。配置や職員数についても計画を立てながら進めていきたい。

Q17. 加茂町内に住宅団地の造成が計画されているようだが住宅対策について。

A17. (副市長)

具体的な場所は検討中である。加茂町は人気エリアなので、造成費用等検討しながら検討していきたい。大規模団地の整備は難しいのでまずは4～5件程度の団地から整備を進めていきたい。

Q18. 財政状況は本当に厳しいのか。

A18. (市長)

市の財政状況はすぐに破綻する状況ではない。ただ、基金を取り崩して予算編成している事、公債費の返済が増えている状況はある。今後義務的経費を抑え行財政改革をどう進めていくのが課題。公債費抑制、繰り上げ償還、事業の平準化を行い財政の健全化を継続的に行う。また、ふるさと納税等歳入の増も図っていきたい。建物の取り壊しは過疎債ではできないが、新たに取り壊しに使える制度が出来ているので活用を考えながら進めていきたい。コンパクトシティ化への質問もあったが、雲南市では居住誘導区域を設定しておりコンパクトシティに近い取り組みだと考えている。施設の整備順位については安全安心、教育は優先順位は高く今後計画的に整備していく。

Q19. ゴミ処理施設整備の検討状況は。

A19. (市長)

市議会6月定例会で説明したが現時点では、施設の建て替え案の他に「一部を委託して整備の範囲を小さくする」「既存の施設を活用する」など様々な選択肢を含めて再検討したい。9月定例会でその検討費用を要求する。市民にとって大きなプロジェクトであり、将来の人口動向、ごみの量、効率的な処理の方法など様々な視点で範囲を拡大し、慎重に検討を重ね、結果については皆さんに説明していきたい。

Q20. 国勢調査の調査員は公募しないのか。

A20. (市長)

現状は自治会や地域自主組織単位で選出して頂いている。「是非やりたい！」と思われる方があれば、自治会長か自主組織へ連絡頂きたい。

Q21. 本来市政懇談会とは、市長と市民が対面して市政について意見交換を行うものと認識している。今回の形式はワークショップに近い。今後の在り方の見直しを検討してはどうか。

A21. (市長)

市政懇談会の在り方については検討していきたい。ただ、大人数での討論となると、意見のキャッチボールが難しいと感じるので、少人数で話し合いができる「市長と“えすこトーク”」を活用頂きたい。

Q 2 2. 行財政改革を行う必要があるといいつつ、学校の統廃合について「小規模校の良さを生かした教育～」と言われる。他の町村では、学校の統廃合が進んでいる。保護者の気持ちとしては、小さな学校よりも大きな学校に通わせるのを望む保護者が多いのではないか。施設は多い程管理費がかかる。行財政改革に逆行しているのではないか。地域と対話しながら行政からアクションを起こさないのか。ラメールの改修をされた。掛合体育館を直されとのこと。掛合体育館よりアスパルの改修が優先するのではないか。今後の利用人口等検討されたのか。ラメールは市内唯一の施設であり、掛合体育館と同列の施設ではない。

A 2 2. (市長)

小規模校にもメリットがあることを理解頂きたい。先生が目が届きやすくていねいな指導が出来ること。小規模校では部活動が出来ないなどのデメリットについては部活動の地域移行や、小学校で共同して授業を行い大人数での経験を得ていく事も出来る。大きい方がいいという事ではないのは理解頂きたい。

他の自治体の例だが学校統合した結果支出が増えた。学校数が減ると地方交付税が減る、そしてバス等の運行で経費は増える。必ずしも学校統合が財政にとってプラスではない。出来る限り現状は維持していきたいが、建物の数は減らしていきたい。小規模な小中が一体的に校舎を使用し経費を減らすような工夫はしていきたい。例えば小学校のプールについてはB&G ラソソテに集約した。集会所等を地域に譲渡したり着実に進めている。

掛合体育館については掛合分校が利用していた。現在掛合小、掛合中の空き時間に学校体育館を使用し非常に窮屈な教育環境である。規模は小さくするが掛合分校の教育環境の維持としても一定の整備はしないといけない。

Q 2 3. ゴミ処理について、先送りすればするほど問題はややこしくなる。一部委託と言われたが、生活に密着した施設は民間に出せば良いという事ではなく市が責任を持ってやるべき。

A 2 3. (市長)

ゴミ処理施設に関しては将来に禍根を残さないよう、慎重に協議し説明していきたい。

誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 人口の問題。自然減、社会減も含め、なぜ人口が減っていくのか。

A1. (市長)

人口の社会減、自然減のうち特に自然減については、人口ピラミッドを見た時に高齢者が若い人より圧倒的に多い。そういう意味では、急激な出生率の改善がなければ自然減を止めることは難しい。現状何とか出生率の改善を図りたいと思っているが、10年、20年のスパンでないと実際には変わらない。自然減というものは今の人口構成の中では日本全体がこのような傾向となっている。逆に人口が減る中でどう維持していくかをしっかりと考えなければいけないという時代に入ってきている。

Q2. UIターン者への支援の在り方や若い人への地域差があるのか。

A2. (市長)

若い人にどうUIターンしてもらうか。働く場所がない所には人は住まないという意見もある。例えば、人口の少ない所へ工場が建てられるか。工場建設は用地の問題ではなく、人材確保が出来るかどうかの問題が根底にある。新しい企業誘致はある程度人口が集中しているところか、出雲市、松江市からでも通える地域が中心とならざるを得ないのが現状。地域として働く場所が少ないところは1次産業（農業・林業）をベースとしながら、しっかりとした産業構造を創っていく、農林業をベースとした6次産業も含めた経済の基盤の上でのサービス業などの構造をとらざるを得ない。このよう中、買い物環境をどうやって維持するのか、銀行サービスをどうしていくのか、物流をどう維持していくのかなどを工夫しながら生活ができて、暮らしていける環境(産業)をそれぞれの地域でつくらなければならない。そのスピードが地域によって差がある。しかしながら、人口が減ることをあまり悲観的にとらえず、人口が減っても幸せに暮らし続けられる地域をどうつくるかという視点で取り組む。人口が増える地域は逆に自治会加入問題など別の問題も出てくる。増えるからいい、減るから悪いではなく、増える地域は増える、減る地域も共に幸せが持続できる社会構造に変えていくことが一番大事である。

そうした中でも、Iターンの独身者など若い人が住むためのアパートの家賃が高いとの意見もあった。アパートについては助成もしているが、出雲市、松江市との価格差がなくなっている印象を持っている。建築資材等が高く建築費が上がり値段が高くなる傾向にある。今後どの程度の支援をするかによって、雲南市に住み続けていただけるかこれからも検証しながら考えていく。今年度空き家住宅の改修、片付け費用の補助上限額を引き上げた。新しく建てるのではなく、空き家を改修やリフォームしたりして住んでいただくことも進めていきたい。現実には若い人は建てるより空き家を探している方が非常に多い。そういった支援はこれからも充実していきたい。

Iターン者の生活の自立、コミュニケーションの意見もあったが、個人の生活の自立はなかなか難しいが、今、雲南市で会社を起業した人（Iターン者）が増えており、令和元年が16件、令和6年が35件に増えている。若者のチャレンジを支援することで、何とか経済的に自立しながら地域で暮らしていける、そしてチャレンジを通じてコミュニケーションが取れるような取り組みも進めていきたい。

Q1. 学校の猛暑対策が早急に必要。

A1. (教育長)

学校では、教室と特別教室にエアコンを整備。体育館は未整備。夏場の体育に関しては、種目を変更したり、時期をずらすような形をとっている。プールも以前は35℃を超えた場合、水温も高くなりプール(での授業)を行うことも熱中症対策で困っていたが、今年度から(加茂)B & Gにて屋内での水泳授業を試行している。

登下校の心配もあり、遠距離のこども達は7月と9月中旬位まで臨時便のバスにて対応している。学校によっては、(水に漬けるとひんやりする)ネッククーラーを配布している所や日傘をさすなどの対策をしている。エアコンについては、一部特別教室で未設置の所があるが、こどもたちが学習する部屋は概ね設置し猛暑対策をしている。

Q2. こどもの出生が減っており学校の統廃合問題は怎么样了のか。また、児童達の積極的な地域活動への参加。将来の雲南市のふるさと大使づくりを。

A2. (教育長)

少子化に伴った(学校の)統廃合についての雲南市の考えは、小規模校のメリット(細やかな指導、一人ひとりに寄り添った指導)を活かして学力もついている。デメリットでいえば、集団が固定化してしまう(友達関係)、勉強した時に思考の広がりが少ないのでは(競争心が少ない)と言われるが、交流学习やICT機器の活用により遠隔授業も含めてデメリットを消していけると考えている。地域コミュニティの中心として学校はあると考えており、現状維持しつつ、地域や保護者の皆様の意見に耳を傾けながらこれからも取り組んでいく。すべての学校に雲南市に誇りが持てるこども達を育てていくことを言っている。具体的には、雲南市を自慢することができたり、将来、雲南市を応援することができるこどもの育成を中心に掲げて取り組んでいる。

Q3. 木次体育館の老朽化による具体的な建替えの計画は。

A3. (教育長)

木次体育館は現在も使っているが老朽化している。木次中学校の体育館を改修予定であり、併せて集約できるところは集約を検討する。

Q4. インターハイ レスリング競技(7/27～7/30 開催)の盛り上げりの評価は。

A4. (教育長)

準備の段階から高校生が非常に関わっており、ポスターも高校生がデザインしたものから選んでいる。また、企画、準備から高校生にも入ってもらい、PRなどを行っている。競技当日もボランティアで三刀屋高校、大東高校、掛合分校の生徒が手伝う予定としている。併せて、今年4月に創部した大東高校レスリング部から3名が出場する。

創部3カ月でのインターハイ出場ということで地元を含めて喜んでいる。当日は、7/29にレスリング部の高校生が競技に出場予定であり、大東交流センターで競技の様子を放映する。これによって盛り上げていこうと思っている。また、これまでインターハイであまり前例はないが、アスパルにおいて高校生考案の物品販売を予定している。

Q5. 地域自主組織設立から20年、今後10年に向けての担い手対策の要検討。人口減少などによる組織、団体、会議等でのスリム化の考えがあるか。

A 5. (市長)

人口減の中で人材をどう育成するかが一番大きな課題と認識している。次の担い手を育成するための研修や会議を通じて次の時代の担い手をつくってきた。こうした中で今後10年、20年先に地域がどうなっていくのか見越すことが申し上げにくいところ。それぞれの地域あるいは自治会などが今後変わっていく中でどうするかという話が出てくる場合もあるが、市としては寄り添った形で支援をしていく考え方しかないのではないかと。自治会も自主組織もそれぞれの歴史、これまでの経緯があってできている。それを無視して議論できない。数人の自治会であっても残りたいといわれる自治会もある。それぞれの判断の中で動いていくものだと思っている。同様に自主組織の活動についても今後それぞれの自主組織の状況を見ながら寄り添った対応を心掛けていく。

Q 6. 人口が減り、自治会機能が果たせなくなっている。

A 6. (市長)

それぞれの自治会とのご相談となるが、自治会のほうでも今までとやり方を変えながらどう続けるか検討いただけるとありがたい。これからどのように持続可能な社会を維持していくのか、例えば祭りを2日かけていたものを半日にするなど変えていくことも工夫のうちの一つ。様々な考えの中で検討いただき進めていきたい。

Q 7. 道路愛護作業について 最近暑くなってきた(開催時期が)ずらせないか、若い人もいない、誰もが気持ちよく暮らせる環境維持を 国道、県道、市道沿いの草刈りについて。

A 7. (市長)

草刈りや河川の清掃等地域の環境の維持については皆様に協力いただいている。まずは感謝申し上げたい。こうした活動をすべて行政が行った場合の試算もしているが、相当なお金がかかる。(5～6億かかる。)そのお金があれば、できることがたくさんある。地域の皆さんができていただくことによって、別の形で地域にお返しすることができ、そうした地域の活動に対してはありがたいと思っている。しかし環境維持が困難な地域(自治会)が出てきている。これまでもシルバー人材センターへの草刈委託を補助対象にしたり市で草刈機を無償貸与するなどいろいろな取り組みを行っている。さらに困った場合は個別に相談にのっている。協働のまちづくりをベースにしながら市政に取り組んでいくのでご理解とご協力を頂きたい。

Q 8. 旧市役所本庁舎跡地の具体的な使用方法は。防災センターとして利用できないか。

A 8. (市長)

今のところ具体的な使用方法は決まっていない。当面は駐車場として利用可能な形に整理している段階である。今後、活用については、皆さま方と協議しながら活用あるいは民間への譲渡など様々な形の選択肢の中で考えていきたい。

Q 9. 斐伊川水系の河川整備計画について。今後の市の対応方針(防災)は。

A 9. (市長)

斐伊川水系の河川の整備は上流域のダム整備が完了し、中流域は斐伊川放水路ができ、現時点では、下流域の大橋川の改修、護岸の整備が進んでいる状況。雲南市としては、さらなる斐伊川堤防の脆弱箇所の改修を国へ求めている。いずれにしても流域治水は工事だけではなく、災害時における避難(生命、命を守る行動)を含めて流域治水といっている。現時点、各自主組織、自治会で避難に対する取り組みが進んでいると思っている。今回、ハザードマップが更新され1,000年に1回起こるような水害の際の浸水深が記載されている。現時点、雲南市内での平場で浸水しない場所がほとんどなく山に近づけばイエローゾーン、レッドゾーンがある。雲南市内に絶対安全な場所はなかなか見つからないことが実態。そうしたリスクを頭に入れながら、どう行動するのかということを考えていき、できる範囲の防災対策として

先ほどのハード整備を進め、浸水地域を減らしていく努力をする取り組みを進めていかざるを得ないと考えている。

Q10. 地域要望について、各地域からの地域要望をすべて市長は目を通していいのか。

A10. (市長)

全て目を通しており、回答内容を担当課に説明を求めることもある。河川浚渫の場合はほとんどが県管理河川。県管理河川の場合は一定の基準があり、基準を超えないと対象とならない。この基準を超えていない時は、緊急性がないとの回答としてお返しをしている。この基準がわからない中で地域は心配であり、相談しながら対応を進めさせていただく。

Q11. 財政状況、将来見込みについて。

A11. (市長)

財政状況は昨年の市政懇談会で若干説明した。現時点、いわゆる公債費(借金)の額が膨らんでそれに対する返済額が膨らんでいる。一方で医療費、介護など社会保障費も膨れていく。昨今の人件費の伸びもあって義務的な経費が増えていく中で非常に厳しい財政状況を迎えている。どうしても貯金である基金を取り崩さないと予算が組めないというような状況に今ある。この点について、何とか改善をするために行財政改革を進める取り組みをしている。歳出の見直しを進める一方で歳入の確保(交付税、ふるさと納税)をしながら乗り切るよう検討している。財政の問題は直ちに来年破産するというものではなく、公債費のピークが令和12年でそれ以降は下がっていく見込みを持っている。このピークをどう越えるかという視点で安定的に運営ができる体制をどう作っていくか息の長い通り組みをしっかりとしていかなければならないという段階。今後も市民の皆様に情報提供や説明をしながら進めていきたい。

Q12. 令和3年災害について 災害以降、行政の防災への姿勢が大きく改善された。地域でより一層防災に取り組めるよう予算配分を。

A12. (市長)

防災に関しては今後も必要な対策をしていかなければならない。一方で財政が厳しい中でお金で解決できない部分もあるが、防災に対する取り組みについては、しっかり対応していきたい。それぞれの地域で取り組みなどの要望があれば総合センターなどを通じてお話いただきたい。

Q13. 雲南市だけではなく、奥出雲町などの政策なども参考としてはどうか。

A13. (市長)

雲南地域は奥出雲町、飯南町1市2町という枠組みは非常に強い繋がりがあり、奥出雲町や飯南町が衰退することがあれば、当然、雲南市も衰退する。雲南市へ移住しているかなりの方が飯南町や奥出雲町の方であり、共にこの地域を活性化させ、持続可能な体制にしていかなければならない。農業やそのほかJRの問題であったり、いろいろな問題を連携しながら取り組んでいる。雲南市の施策を考える上では飯南町、奥出雲町の対応も参考にさせてもらっている。

Q14. JR木次線について。本当にどうなるのか。

A14. (市長)

新聞紙上では木次線を始めとした赤字路線の存続に対して懸念するような記事が多い。市としても危機感を持って対応をしているが、現時点では、木次線に対してのJR側からの協議は一切ない。芸備線の方が再構築協議会での再構築協議でどのような結論が得られるのか行方が全く見通せていない状況。そうした中で木次線の問題まで拡大をして議

論される認識を今のところもってない。まずは芸備線における対応、芸備線の存続に向けた動きについては、木次線利活用推進協議会も一緒になり協議ができるところはしている。木次線については、当然、利活用を推進していく、あるいは木次線そのものの価値をしっかりと確認していき、持続できるような態勢をとる対応を進めている。木次線はこの地域にとってなくてはならないと認識している。まずは守る方向で進めている。

Q15. 夜のタクシーが減っている。

A15. (市長)

深刻な問題。現在、公共交通の検討をバスも含めて行っている。この中ではタクシーの夜間交通の問題も非常に大きな課題だと思っている。コロナ明けの時期に夜の飲食店の支援の観点からタクシーに対する助成も行った経緯もある。今後は乗務員の確保、乗務員を確保するための経営の安定をどうやって実現するのかについて各企業も交えて今後対策、方向性を検討せざるを得ない。自家用運送などの新しい制度も視野に入れながら今後の公共交通の在り方を考えていきたい。

Q16. 市職員にもう少し地域の安全・安心、環境維持に関心を持ってもらいたい。過去に接遇日本一を目指して、市役所・総合センターの窓口の対応は非常に良くなったが、Iターンする人が来庁される窓口の対応はどうなっているのか。

A16. (副市長)

なかなか職員が地域へ出掛けて色々な活動の手伝いが十分できていないと思っている。安全・安心、環境維持、先ほどの道路維持も同様に自治会の活動や自主組織の活動に積極的に出るように職場では話をするようにしている。接遇日本一について以前から取り組んでいる。そうした精神を引き継いでやっている。Iターンする方の対応は専門の担当課がある。一件一件丁寧にその方が何を望んでおられるのかということを把握しながらその方に応じた対応をしている。Iターンの方は住む所から仕事のことまで多岐にわたりしっかりと対応している。今後も続けていきたい。

Q17. 斐伊川水系河川整備計画について

平成22年に国交省主催の斐伊川河川整備懇談会が実施され、雲南市長もメンバーだったが斐伊川治水の三点セット（尾原ダム、斐伊川放水路、大橋川改修）のうえに、堤防の弱い箇所を補強するため20年間で1,800億円の経費を見込むということだった。そしてその段階で挙げられた箇所は出雲市12箇所だけだったが、雲南市もあるのではと調査したところ雲南市1箇所が追加となった。その箇所は斐伊川左岸側、下熊谷側の700mで、地質調査によると堤防に合わない悪い土質のため越流前に堤防横から水が噴き出るということで急遽追加された。これを何時どのようにやるのか。市はこれに関係しないのか。平成26年の現地調査の際に関係者が集まり説明があったが、その後一切情報が無い。先般、堤防との境にアパートが12戸建ったが、工事の内容によっては支障になるのでは。事前情報は地元におろしてもらいたい。

A17. (市長)

この事業を実施するのは国土交通省出雲河川事務所になる。現在、出雲河川事務所が実施しているのは大橋川の改修で、これには大きな予算が必要であり優先的に行われている。下熊谷の堤防の改修については会議を通じながら、あるいは国に対する要望にこの項目を必ず挙げて要望している。現時点においては、国交省からいつの時点で事業化するのか具体的には示されていないし、事業着手もされていないため改修に関する説明も無い状況である。しっかりと国交省に対して脆弱箇所の改修を求めていく。また、事業が動けばその段階での情報は地域の皆さまに説明をしていきたい。

Q18. 財政問題について

平成17年度に予算が組めず基金が枯渇することから非常事態宣言が発せられ、各種団体に対する補助金や交付

金の聖域無しのカットがあった。更にまちづくり交付金等を含めた工事の中止、市長をはじめとする職員の給与カットもあったが、地方交付税の減額部分を総務省へ申し入れて10億単位で復活し、その結果、まあまあやって行けるところまでになった。その時、基金が65億あった。今年、よくわかる予算説明書もらったが、これを見ると令和7年度63億、11年度25億と、非常事態宣言を出した頃と比較したら0に等しい額となっているが、今後非常事態宣言を出されるのか。

A18. (市長)

当時のような非常事態宣言を発することが無いよう、今の段階で回避できる方法を考えて行財政の改革を進めている。直ちに非常事態宣言を出さなければ財政が破綻する段階では無いと認識している。今後の地方交付税の動向や、ふるさと納税などの新たな財源を確保する中で、令和12年に向けて起債の発行が制限される事態を回避しようという考え方で進めている。もちろん当初予算を工夫しながら組んでいく必要もあるが、これまで余裕のある予算組みをしていた部分を予算編成において議論しながら適切な予算組みとなるよう努力する必要がある、一方で、目的を失った補助金の整理や公共施設の見直しを含めて議論を進めている。当時の非常事態宣言を発するような事態にならないように、今の段階で頑張って取り組んでいく。

Q19. ①道の駅「さくらの里きすき」で工事をしているのは防災施設か。

②駐車場を造って建物は造らないのか。一般の人が避難所として利用できると良いと思っているが。

A19. (市長)

①駐車場として整備をしながら、防災段階での避難施設として、また防災用途の利用も可能な施設として整備をしている。

②基本は駐車場と公園になる。最近災害時に自動車の中で避難する方が多く、その方々のための資材を置いたり仮設住宅を造ったりテントを張ったりする応急的な措置をする平場として整備を行う。

Q20. ①弱者の立場で発言したい。今、困っている人は国民年金の一人暮らしの高齢者で、毎月どうして生きていくのかすごく悩んでおられる。それから国民健康保険について、私も昔は商売をしていたが今は高く感じる。固定資産税は2月、5月、7月、12月に4回払っており、この原資は国民年金だが税務課へ支払いを年金に併せて欲しいと話したら、それは出来ないと言われた。困っている人がいっぱい居る。政治はそういった方を救済することが大きな目的ではないか。

②昭和の時代はみんな貧乏だったので助け合って生きていた。今は完全に格差社会になった。むしろこれからは階級社会になるという人もいる。朝鮮王朝時代の階級制度において教育を受けたのは貴族階級だけだったが、日本は江戸時代に寺子屋がありこれが文化力となっていた。こういう国は決して植民地にはならないと言われている。各地域組織において寺子屋で市民が学習できないか。

A20. (市長)

①税金の話については、課税の公平性をどう担保するのかということが一方の大きな問題であり、実態に即した課税や柔軟な課税について、国に対してそういう声もあるということを伝えていきたいと思う。

②ご指摘のとおり、何歳になっても学び続けていくのは大切なことだと思う。行政が行うと固い話で決まった学習しかできなくなるが、地域自主組織、老人クラブや色々な団体がそういった活動をされていると思う。そういった活動を支援することにより、常に学び続けることができる環境づくりに努めていきたいと思う。

誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 外国人との共生について 行政と自治会の役割は何か。

A1. (市長)

行政と自治会等の役割について行政からの情報発信等配慮していく 日本語学習の場の提供等は行政の役割。地域とのつながりは、地域で作り上げていくもの。良い方法を試行錯誤していく。

Q2. 一宮自主連合会の今年度のテーマは「ご近所力」 重要なテーマではないかと思う。

A2. (市長)

「ご近所力」はまさに大切なこと。自治会に入っていない人や外国の人、障がいのある人も含めて「ご近所力」を高め生活していくことは共生社会を実現していく道である。

Q3. 草刈り応援隊の活動について 定住等の効果があれば、市全域に普及させるべきでは。

A3. (市長)

草刈り応援隊からただちに UI ターンにつながらないかもしれないが、今住んでいる人に対しても恩恵がある活動。大東町山王寺でも田んぼのオーナー制度など取り組んでいるが市外と交流し、力を貸してもらうことは広めていく必要がある。

Q4. 人口の問題、UI ターン推進について。

A4. (市長)

高校を卒業するタイミング等でLINE 登録し、市の就職情報などの発信を4年続けて行っており、大学卒業時に雲南市の就職情報を取得できるようにしている。今年からオンラインで雲南市の情報を取得できる仕組みを始めることとしている。

Q5. 女性のUI ターンについて。30 歳くらいから給与格差が広がっており、改善が必要ではないか。

A5. (市長)

松江・出雲への転出を防ぐ必要がある。就職につなげるプロセスが必要であるが、強制的に雲南市での就職を促すものではなく、活躍したい女性には帰ってきて頂くような取り組みを地道に行っていきたい。

Q6. いずれ帰ってきて欲しいと伝えないと帰ってこないのでは (特に女性)。

A6. (市長)

男女共同ではあるが、住む場所を決める主導権を持っているのは女性であるケースが多い。東京等と比べ、雲南は良い場所と伝えていきたい。今まで、こどもたちに、雲南の魅力を上手く伝えられていないところがあった。魅力

をしっかりと伝えていく必要がある。

Q 7. 地域おこし協力隊の活用について。

A 7. (市長)

積極的に登用しており、今年度も3～4名登用。うまく定住につながらない人もいるが、周辺部で活躍する若者を増やしていきたい。

その他市政全般について

Q：質問 A：市からの回答

Q 1. 地域住民の年齢が上がり、1人暮らし世帯も増え、不安が大きい。道路愛護作業の負担も大きい。

A 1. (市長)

行政から自治会に向けて、自治会の合併等を指示することは難しく、それぞれの地域で歴史、文化があり単純に人口が減ったので自治会を合併というわけにはいかない。自治会同士で話し合うしかない。道路愛護作業の負担軽減については、シルバー人材センターを利用すると助成金が出たり、ラジコン草刈り機の貸し出しも行っている。少しでも負担が減るように対策を考えていく。その他、困っている自治会があれば、まずは総合センターへ相談してほしい。

Q 2. 2拠点住民登録制度についてどう考えているのか。

Q 2. (市長)

良い制度であると思う。将来的には税金面も反映してくるのではないと思う。雲南のために活動してくれる人を増やしていくことは重要。

Q 3. 空き家対策について。地域へ出向いての広報が必要なのは。

A 3. (市長)

空き家について、危険な空き家は撤去すること、利用可能な空き家を流通させることが大切。補助金等を活用し、自力撤去をお願いしている。固定資産税の優遇についても案内を行っている。空き家を流通させるには、近所の声掛け等、地域の協力が必要、また空き家の片付け補助金を今年度5万円から10万円に引き上げ流通を促進していきたい。

Q 4. こどもの数が減っていくが、学校の統廃合についてどう考えているのか。

A 4. (教育長)

少子化について、地域で偏りがある。年によって生徒数の波がある中でどのような学びが適切かを検討していかなければならない。学校の統廃合は視野に入れているが、少ない人数で学ぶことにもメリットはある。

Q 5. 学力テストの雲南市の平均点が全国平均より下回っている。

A 5. (教育長)

今年度の雲南市の結果はまだ出ていないが、昨年は島根県平均とほぼ同じ。教員の指導力について、分かりやすい指導

<p>であったか反省する必要がある。今は、こどもたちに興味を持ってもらい、楽しく自発的に考える授業が大切だと考えている。雲南市は学力向上のために、職員の増員も行っている。雲南市のこどもは素直で良い子。こどもの力をどう伸ばし、どう発揮していくかが重要。メディアに触れる時間が多いのも課題。こどもと一緒に課題解決を考えていく必要がある。</p>
<p>Q 6. 男女の役割分担。多様性の学びについて。</p> <p>A 6. (教育長)</p> <p>性に関する授業は保健の授業の中で取り扱ってきたが、今は、1年生から中学3年生まで。系統的に学習するようにしている。人権とも絡めて学んでいる。</p>
<p>Q 7. 地域と行政職員との関わりが少ない。</p> <p>A 7. (副市長)</p> <p>合併以降、職員数が減ってきている。市内在住職員が減っていることも要因。まちづくりに取り組むには、地域と行政が一体となる必要がある。地域からも声掛けをしていただきたい。地域活動に対して意欲がある職員もいて引き続き地域との関わりには取り組んでいきたい。</p>
<p>Q 8. 働く女性の生活・育児を応援するため小児科があるとよい。</p> <p>A 8. (市長)</p> <p>現時点では、頑張るとしか述べることができない。小児科・産婦人科が減ってきている。国がどう対策していくのか。今後減っていくことは必然であるが、雲南市として努力していきたい。</p>
<p>Q 9. 企業誘致についての方針があるか。</p> <p>A 9. (市長)</p> <p>まだ公表できる段階ではないが、様々な分野で誘致を進めている。企業の決め手は、その土地で雇用ができるか、人材が確保できるか。既存の企業とのバランスも必要であり、引き続き人材の確保にも取り組んでいく。</p>
<p>Q 10. 鳥獣害（イノシシ・サル）対策について。</p> <p>A 10. (市長)</p> <p>4月時点での被害は少なかったが、7月は被害が増加。対策する必要がある。昨年より大型の檻を導入。猿の群れの行動範囲をGPSで把握し、追い払いや駆除を行う。今後も有害鳥獣対策については試行錯誤し取り組んでいく。</p>
<p>Q 11. コトリエットの空き店舗対策について。</p> <p>A 11. (市長)</p> <p>賑わいの確立に努めているが、ビジネスホテルのオープンもあり周辺地域での飲食の弱さを感じている。商工会や企業とも連携相談し対策に取り組んでいく。</p>
<p>Q 12. 脱炭素の取り組みについて早期に分かりやすく丁寧な説明を。</p>

<p>A 1 2. (市長)</p> <p>先行地域に選ばれば、良い財源を確保できる。早い段階で、地域自主組織を通じて説明を行っていく。</p>
<p>Q 1 3. 公共交通の赤字解消、地域交通の改善策について。</p> <p>A 1 3. (市長)</p> <p>雲南市地域公共交通計画の委員会を立ち上げ、今後の交通について検討していく。利用しやすく、持続可能な公共交通について多くの関係者の意見を取り入れながら考えていく。</p>
<p>Q 1 4. 給下地区の小原橋復旧はいつ頃か。</p> <p>A 1 4. (市長)</p> <p>災害復旧では永久橋への整備はできず、現在財源の確保が課題である。具体の時期については未定であるが引き続き財源確保に努めたい。</p>
<p>Q 1 5. 消防団員確保のため処遇の改善を。</p> <p>A 1 5. (市長)</p> <p>団員確保のために、報酬や勤務方法などを見直しているが今後も消防団幹部とも協議し団員確保に努めたい。</p>
<p>Q 1 6. 市の財政状況は大丈夫か。</p> <p>A 1 6. (市長)</p> <p>すぐに行き詰る状況ではないが厳しい。地方債が発行できなくなる事態は避けなければならない。基金の取り崩しは課題であるが、昨年度も改善を図り、基金取り崩し額を予定より減らすことができた。行政は効率かつ安定的な運営をしていかなければならない。公共施設等のこと、補助金の見直し、ふるさと納税の活用等考える必要がある。</p>
<p>Q 1 7. 松江ではカメムシ防除の支援があるが、雲南市は同様の支援があるか。</p> <p>A 1 7. (市長)</p> <p>被害状況を見つつ対策をしていく。現時点での支援はない。</p>
<p>Q 1 8. 猿の被害が非常に多い。畑を荒らされると、地域の人の楽しみがなくなってしまう。鳥獣害対策を早急にして欲しい。</p> <p>A 1 8. (市長)</p> <p>鳥獣害については、深刻に受け止めている。大型の檻を、今年は阿用に設置している。今後も檻を増やしていく。小型の檻でも実証実験を行っている。</p>
<p>Q 1 9. 道路愛護作業について。休日まで出て作業する必要があるのか、住民税を払っているから市がすべきではないのか。高齢化で作業が大変。市職員も手伝ってほしいとの意見がある。</p> <p>A 1 9. (市長)</p> <p>行政で全ての除草を行うことはできない。地域の皆様に協力いただき可能な範囲で行って欲しい。協働のまちづくりの</p>

一つの形。高齢者負担について、相談に応じている。草刈り機械の貸し出しも行っている。

誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 違った価値観意識や思い込みを変えること、行動を変化させるにはどうされるか。

A1. (市長)

市でも普及啓発や研修機会を通して取り組んでいく。意見交換等で話し合ってもらうことが取り掛かりになる。

Q2. 移住したい人がいても、空き家がない。空き家があれば移住できると思う。

A2. (市長)

現在空き家になっているが、流通できる空き家になっていないのではないか。市では空き家片付け補助金を倍にしたり、改修支援をしたりもしている。空き家は、早いタイミングで流通させることが大事だ。

Q3. 人口の社会減が改善傾向にあるとのことだが、何が要因なのか分析しているのか。

A3. (市長)

雲南市の移住定住施策は、同規模自治体で一番との評価だ。制度の充実や子育ての負担軽減がUIターンの増加につながっている。外からどのように地域が見られているのかを再確認することも大切だ。

Q4. 外国人や障がいのある方との共生には、こどもの頃からの教育が重要だ。

A4. (教育長)

外国籍の子、障がいのある子への対応は教科書も含めて学校で教えることになっている。

保護者が外国籍であることも増えている。こどもたちは、言葉が違うこと文化が違うことも理解しようとしている。

その他市政全般について

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 旧町村の垣根を超えた地域づくりや学校づくり等が重要だ。

A1. (市長)

広域的な連携は必要だ。波多と塩田地区との取り組みもある。学校の共同授業や部活の地域移行もある。連携の視点は重要だ。

Q2. 地域づくりは人づくりだ。人材育成をどうするか。

A2. (市長)

<p>リーダー的人材が不足している。自分から少しでも関わっていこうとする人、そういう人づくりへの取り組みを粘り強くやっていく。人材不足による地域の負担軽減も必要だ。</p>
<p>Q3. 道路の影切りが必要だ。高齢化により道路愛護作業ができなくなる。</p> <p>A3. (市長)</p> <p>道路愛護全てを行政で行うと莫大な費用が掛かる。地域でできることをしていただくことで、市にしかできない他の作業を行うことができる。シルバー人材センターへの委託費補助やラジコン草刈り機の貸し出しも始めるなど地域への負担を減らす取り組みを始めている。影切りについては、道路占用部分は市で伐採できるが、根本部分は所有者や地元にはできない。良い方法を相談したい。</p>
<p>Q4. 吉田中学校生徒数が少ない。学校生活に活気があるのか疑問だ、統合できないか。</p> <p>A4. (市長)</p> <p>生徒数は少ないが、活気のある活動をされている。向こう5年間は生徒数が微増するが、その後は教育委員会でも考えていきたい。</p>
<p>Q5. 若い世代がストレスなく子育てできる環境が必要だ。</p> <p>A5. (市長)</p> <p>こどもが過ごしやすい環境維持に取り組みたい。中山間地域ではこどもが少ないが、ICT や部活の地域移行、学習環境や生活環境を整えていくことが大事だ。</p> <p>こどもは社会と結びつきを持ちながら、社会全体で育てることが大事だ。</p>
<p>Q6. 介護難民が生じないためにも、介護サービスの安定供給が必要だ。</p> <p>A6. (市長)</p> <p>介護、医療の価格は、国が定めているため地方で価格を定めることができない。中山間地域の医療介護が持続しにくい体系になっている。全国市長会から国に対して介護、医療が持続できるよう価格体系の見直し要望をしている。</p>
<p>Q7. サル被害の対応を。</p> <p>A7. (市長)</p> <p>市でもサルの行動範囲を把握する取り組みや、大型捕獲檻を設置している。この結果吉田町のサルの状況は2つの大きな集団の勢力範囲に掛かっていることが分かった。大型檻だけでなく小型の捕獲檻でも捕れる実績もある。猟友会や地域おこし協力隊専門員と工夫し、サル対策を講じる。</p>
<p>Q8. 島根県の省力化投資支援事業に飯南町では上乗せ支援をしている。市でも上乗せを。</p> <p>Q8. (市長)</p> <p>県の取り組みを優先しており、市では実施していない。検討を続けていきたい。</p> <p>日本の農政は大きな変化を迎える時期で、この先どうなるか不透明だ。コストを下げたり、余った米を輸出したりすることは中山間地域では難しい。中山間直払交付金の充実を求めている所得補償的な支えを検討する必要がある。農業で自立できる体制があれば後継者につながり、農地保全にもつながる。国・県とも相談して農業で自立できるようにした</p>

い。
<p>Q 9. 中心市街地にホテルができたが、その周辺のまちづくりをどうするか。</p> <p>A 9. (市長) ホテル宿泊者にどこでお金を使ってもらえるか、飲食含めて考えていく。</p>
<p>Q 10. 市の財政が厳しいとのことだが。</p> <p>A 10. (市長) 義務的経費は増える。令和 12 年度に公債費がピークになる。それまでの苦しい時期を乗り越えなければならないが、やらなければならないことはやらないといけない。ふるさと納税などの収入を求めているかなければならない。</p>
<p>Q 11. 公共交通について。</p> <p>A 11. (市長) 新たな公共交通の構築に向けた検討会を立ち上げる。そこで様々な意見、要望ができるだけ叶うようにしていきたい。</p>
<p>Q 12. 島根原発に対する考えは。</p> <p>A 12. (市長) 2 号機については現時点ではやむを得ないとしている。3 号機は審査中との認識で、市でも十分な議論が進んでいない。災害対応は進めなければならないと思っている。</p>
<p>Q 13. 雲南市には、高校卒業後の専門学校、大学がない。市外・県外の大学等に進学することも市が援助して、その代わりに市に恩返しをしてもらうようなことはできないか。</p> <p>A 13. (市長) 中学生や高校生の進学先を強制することはできない。市内 3 つの高校の魅力を高め選んでもらいたい、一定程度は市外の高校に行かれる。卒業後、雲南市に戻ってもらえるようにキャリア教育の取り組み、市内企業情報を伝える等に取り組んでいく。市で奨学金を出すにも充実した財源が必要となるので難しい。企業が奨学金を出すものもある。</p>
<p>Q 14. 出雲や松江の高校に行かなくても、市内の高校から希望する大学へ行けるように。</p> <p>A 14. (市長) 市内 3 つの高校の魅力化をしっかりとやっている。進学率も高い。掛合分校の志願率は 1 倍を超えている。</p>
<p>Q 15. 河川の土砂撤去をしないと、災害からの完全復興はないと考える。</p> <p>A 15. (市長) どこの河川なのか確認したい。大抵は県管理河川なので、県と相談しながらとなる。土砂撤去の順番もあるが、市として県に働きかけたい。</p>
<p>Q 16. 国道 314 号の天ヶ淵の上下 50 m 程度の草刈りをしていただきたい。事故が起きないうちにお願いしたい。</p>

A 1 6. (市長)

早急に対応したい。

誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて

Q：質問 A：市からの回答

Q. 女性の人口減少対策として、婚活の支援が必要だと考えるが、市としてどのような対応をしているのか。

A. (市長)

県の施策である「はぴこ」をベースに行っている。昨年度は、出雲市と一緒にインターネット空間での出会いの場創出に取り組み、数組のペアができたと聞いている。婚活支援策については、非常に難しさを感じており答えが見いだせない状況。世代により出会いの機会や考え方も様々で試行錯誤を繰り返している。特に若い世代の方には、人生設計と結婚を併せて、現実的に考える機会を設ける必要性を感じている。

その他市政全般について

Q：質問 A：市からの回答

Q1. 地元企業への就職を条件とした、雲南市版の奨学金制度の設立について。

A1. (市長)

検討に値する内容、財政面や制度運用について照らし合わせながら一つの提案として受け入れたい。現状としては、有資格者を雇用したい会社側等の動きとして既にそれを実践している所はあり、これをどこまで広げるかも併せて検討したい。

Q2. 学校給食について、保護者負担を増やしてでも質の向上を図ってもらいたい。無償化の検討ばかりしないでもらいたい。

A2. (教育長)

食材の物価高騰が進む中、給食費の負担額で賄えない部分については雲南市で負担し、給食の質・量は下げないように取り組んでいる。

Q3. こどもがふるさとに帰ってくるには、親の教育、地域の皆さんの気持ち、学校でのふるさと教育が大事。

A3. (教育長)

雲南市のすべての学校において「ふるさと教育」を重要な位置付けとしている。地域を好きになる、地域に誇りを感じること、こどもを育てたいという雲南市の考えを転任してくる教諭にしっかりと伝えている。実際に地域の皆さんと一緒に行う各種活動を「ふるさと教育」の一環として行っており、継続していくことにより、ふるさとに住み続ける・ふるさとを一旦離れても帰郷するこども、市外に住みながらでもふるさとを応援してくれるこどもを育てていく考え。

Q4. こどもの人数が少なくなっている。掛合小中学校は今後どうするのか。

A 4. (教育長)

雲南市全体において、こどもの数が減少している中、掛合小中学校も減ってはいるが緩やかな動き。掛合小学校において、現在60人台の生徒数が令和14年までは50人台を維持できる見込み。掛合中学校においては、30人台を令和13年まで維持できる見込み。理想とは言えないまでも学校を維持していく生徒数としては、しばらく満たしているという認識。

Q 5. 授業でのタブレット端末活用について、今後の悪影響がないか心配。自分の手で字を書く、文章を書くことも必要。先生の質の低下が心配。

A 5. (教育長)

令和3年度から生徒一人に対して1台のタブレット端末を導入している。今後の日本の情報化社会を見越し、子どもたちに早期からタブレット端末による情報学習を行っており、これは全国的な状況である。書く機会に対するご心配については、書くことの大切さは認識しており、しっかりと行っている。しかし、長文等、書くことに時間を取られる場合はタブレット端末の機能による効率化を行っている部分もある。書くことと効率的に行うことを組み合わせている。また、タブレット端末によるインターネット上の危険性については、子どもたちにデジタル技術の良い使い手となるよう積極的な教育を行っている。(デジタルシティズンシップ教育)

Q 6. 掛合分校の更なる充実化。女子寮だけではなく男子寮も必要「無理 できない」ではなく、まずは話し合いの場を設けるべき。(掛合町内で唯一生徒数が減っていない学校。支援等に関する複数の意見あり。)

A 6. (市長)

定員が1倍を超える人気のある状況。現在、高校の話し合いの場として設けている「コンソーシアム」に、学校長、雲南市、島根県が集まり話し合いの場を設けている。掛合分校への支援も、その中から行いたい考え。寮の課題については、寮監を行う先生方の負担の問題があり話が進んでいない状況。しかしながら、必要なものは対応する考えで話し合いをすすめる。

Q 7. 自治会、自主組織、雲南市において、住民同士の話し合いの場は意味があり、必要である。

A 7. (市長)

まさに話し合いから物事はスタートする。様々な考え方を持つ人がいる中、話し合いの場を活用して多くの意見を聞くことが重要。とは言え、人の気持ちを察するのは難しい部分があるのが実情。地域で設けられた話し合いの場で、あらゆる立場、世代の皆さんの意見を出してもらえようご理解、ご協力をいただきたい。

Q 8. 高齢化により、市道の草刈りが困難になった。

A 8. (市長)

仮に市道の草刈り等を全て行政で対応した場合、何か別のことをやめなくてはいけない。地域の美化については、住んでいる皆さんに行ってもらい、その分の経費を地域づくりに充てるとというのが基本的な考え。とは言え、対応が難しくなっているが現状である。これまで、シルバー人材センターの活用に対する補助金や、貸し出し用の手押し式草刈り機の導入など工夫を続けている。更に困難な場合は、掛合総合センターに相談してもらいたい。

Q 9. 自治会等の構成員が減り、防犯灯の電気代が払えない。市による管理はできないか。

A 9. (市長)

<p>全市において、既に課題として取り上げられ検討を進めている状況。地元設置及び管理という現状のルールの中、どうにもならなくなったという場合は、掛合総合センターに相談してもらいたい。</p>
<p>Q 1 0. 高齢者が市営バスを利用する際に、バス停までの移動に苦慮している。バスのルートの一部増設して町中等を通ることにできないか。</p> <p>A 1 0. (市長)</p> <p>現在公共交通の見直しを検討中。既にたくさんの意見が寄せられており、事業者の皆さんと共に、これまで寄せられた意見を踏まえながら、どこまでできるか検討していく。ある程度の方針が決まれば相談させていただく。</p>
<p>Q 1 1. 道の駅「掛合の里」緑地公園の今後の整備はどうなるのか。</p> <p>A 1 1. (市長)</p> <p>道の駅「掛合の里」が防災道の駅（国交省指定：島根県内1箇所）に指定されたことにより、どのような機能を持たせるか検討しながら、緑地公園の整備も行っていく。道の駅全体としても、今後の活性化策を睨みながら検討を進めていく。</p>
<p>Q 1 2. 道の駅「掛合の里」のレスト&ショップのレストランは営業しているのか。</p> <p>A 1 2. (掛合総合センター所長)</p> <p>レストラン営業は、金・土・日・祝日に営業している。</p>
<p>Q 1 3. 掛合体育館跡地は今後どうなるか。</p> <p>A 1 3. (市長)</p> <p>掛合体育館跡地については、既に要望をいただいております。地面をフラットにして舗装し、駐車場やイベント会場として使えるようにする。掛合体育館の建築については、今後数年間の財政状況に当てはめながら計画を進めていく。予定地は掛合中学校横になる。</p>
<p>Q 1 4. 企業誘致の促進について。</p> <p>A 1 4. (市長)</p> <p>企業誘致について一番必要なのは「人」である。工場等を建設しても、そこへの雇用の方が難しくなっているのが現状。</p>
<p>Q 1 5. 働く場と担い手の確保について。</p> <p>A 1 5. (市長)</p> <p>農業については、担い手の確保が重要であり、企業誘致の一環と認識している。担い手確保の事例として、吉田町上山の集畜場へ地域おこし協力隊員に入ってもらった。他の分野においても、担い手の確保をしっかりと行っていきたい。特に南部地域（吉田・掛合）は、小規模事業においてこの流れが必要と認識している。</p>
<p>Q 1 6. 観光振興の方針について。</p> <p>A 1 6. (市長)</p>

掛合町には、龍頭・八重滝がある。自然体験ができるものをしっかりとやっていきたい。

Q17. 雲南市が考える再生可能エネルギーとは何か。

A17. (市長)

今年度、「うなん共創エネルギー」という電力会社を作った。その目的は雲南市内で作ったエネルギーを市内で流通させることである。作り方は、公共施設の屋根に太陽光パネルを設置し発電するというものだが、パネルの設置は事業所や民家にも広げていきたい。更に水力発電にも着目しており、木次町の尾原ダムで新たに発電を行う予定。その他、今後新たに出てくる技術も活用しながら取り組んでいく。景観の保全、安全性、農業への悪影響の防止について慎重に考慮しながら実施する考え。

Q18. 市道佐中郡線と国道54号交点にある市道佐中線の橋梁「郡橋」の老朽化の不安と、国道54号との出入りの不便さがある。郡橋は車両の通行が多く、この問題の解消として「郡自治会」から「十日市」自治会へ抜けるルートを新たに作ることを過去の市長にも要望してきたが、どのような考えか。

A18. (市長)

郡橋の安全性の調査は実施しており、安心して渡っていただきたい。郡地内と国道54号の出入りについては緑ヶ丘地内にも橋梁があるため、現時点では別ルートを作る考えはない。橋梁は非常に高価であることから、財源の確保が難しく、現在建設中の橋梁や災害復旧の橋梁がある中では新たな橋梁の建設は現時点においては難しい。

Q19. だんだんタクシーと市民バスを利用して雲南市立病院まで行ってみた際に次のことに気が付いた。

- ・三刀屋中学校前停留所に永井隆記念館の名前があったほうが良い。来館者の増加に少しはつながるのでは。
- ・市民バスからだんだんタクシーの待ち時間が1時間30分もあり、あまりにも長すぎる。もっと乗り換えのつながりを良くしてもらいたい。

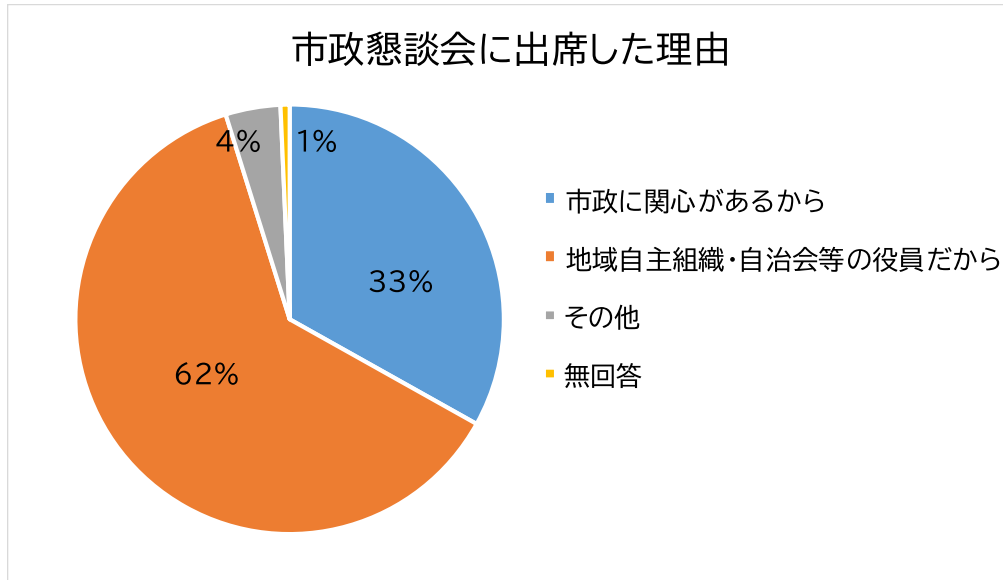
A19. (市長)

交通施策については、現在見直しを検討中。その中でタクシー、バスとも運転手の不足が課題となっている。そのような中において、しっかりと考えていきたい。本日の意見もしっかりと参考にさせていただく。皆様にも是非ともバスを利用していただきたい。

令和7年度市政懇談会等に関するアンケート結果概要

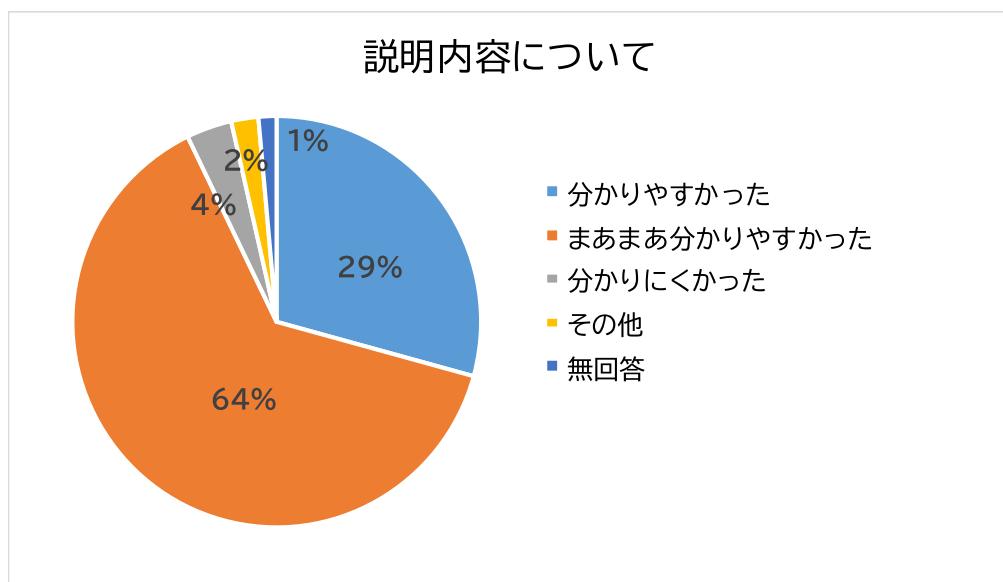
市政懇談会の会場で参加の皆様にご記入いただいたアンケート結果の概要です。
いただきましたご意見等は、今後の市政懇談会などの参考とさせていただきます。
ご協力ありがとうございました。

○アンケートの回収状況(回答総数102)



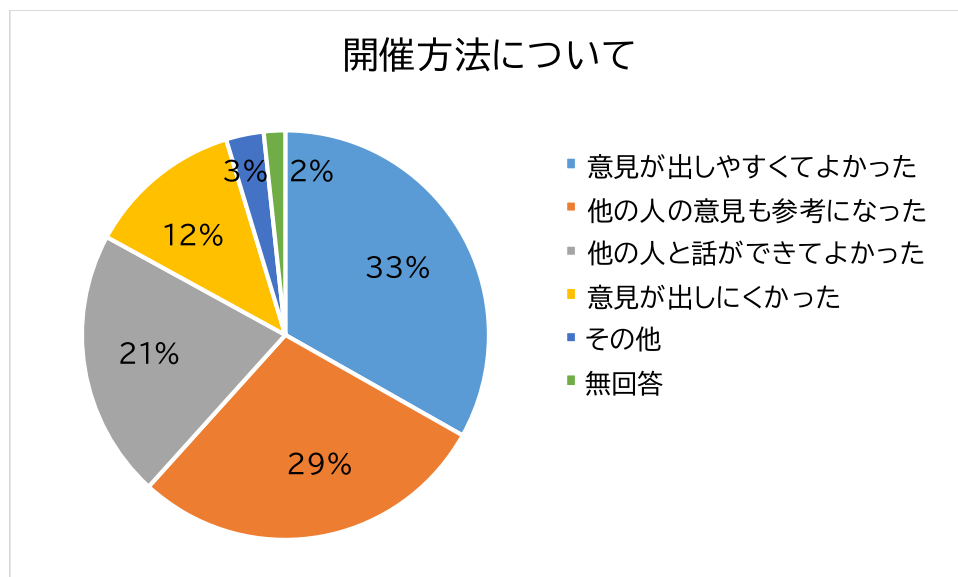
《その他意見・自由記述》

- ・地域づくりに関心があるから
- ・地域自主組織職員だから
- ・その他の意見（2件）



《その他意見・自由記述》

- ・ざっくりの説明が多く、具体的な説明があると良い
- ・希望する説明が少なかった
- ・お金がないは聞きたくない
- ・その他の意見（1件）



《その他意見・自由記述》

- ・参加者が少ないなどの意見（4件）
- ・時間が足りないなどの意見（3件）
- ・意見交換に関する意見（4件）
- ・回答に関する意見（4件）
- ・その他の意見（2件）

令和7年度市政懇談会の開催方法について

昨年度から「参加しやすく、意見を出しやすく」をめざして、これまでの開催方法を一新して開催しています。

＜当日のタイムテーブル＞

時 間		項 目
19:00		開 会
19:10	20 分	市長あいさつ 「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて」説明
19:30～	15 分	説明内容や地域課題全般についてテーブルごとに意見交換し、「意見・提案コメントカード」に記入
19:45～	30 分	「コメントカード」を回収し、総括回答
20:15～	10 分	意見や回答に関するご意見（口頭）
20:25		副市長あいさつ
20:30		閉 会

令和7年度市政懇談会 会場コメントカード意見まとめ【会場別】

会場	意見・提案	分類
1 大東町	国の助成金を活用した住民サービス、生活の向上のための策はないのか？建設業（私の場合は建築関係）で活用できる長寿子育て支援策等あるのでその辺を市としてもっと活用推進すべきと思う。	子育て/教育
2 大東町	市道拡幅工事の工期が大幅にずれ込んでいる工事がある。予算も膨らむ一方の様。早期に終わらせていただきたい。	地域づくり
3 大東町	まず、生活道の除雪と改修を考えて欲しい。県道と市道の格差の是正を考えて欲しい。雪が降っても安心して走れる路を。道路に屋根掛け。幅員拡幅	地域づくり
4 大東町	自治会に加入されてない方について、加入すると負担が大きくなる（自治会費、街路灯、道路愛護作業など）から加入されない方がおられる。行政としては今どのように対応されているか。（災害、防災など万一の時の対応はどうすればいいのか）	地域づくり
5 大東町	社会基盤の整備、市道の管理（なぜ住民が道路の整備、法面の除草をしなければならないのか。税金を払った上に無償で行わなければならないのか。）私ができなくなれば40a位の除草はする者がいなくなります。	地域づくり
6 大東町	市道の往路愛護を1回から2回にされた説明が不足 何故2回、どこの道路を清掃してほしいなど 任意の協力であることの強調	地域づくり
7 大東町	水道の整備がされていない地域があります。今夏の水不足が心配です。（全て山水で賄っています）	地域づくり
8 大東町	駅前自治会には駅前振興会という活動があります。又駅前自治会には、外国人技能実習生を受け入れている会社や、通信制高校のサポート校もありますが、振興会の活動には参加させてもらえません。排除感がぬぐえませんが、理由はよくわかりません。	地域づくり
9 大東町	認知症対応のデイサービス施設が休業したり人手不足で利用しづらい、頼みにくい、利用する側がストレスを感じている。	健康/福祉
10 大東町	高齢者避難毎年のように出るが、本当に避難できるのか（キャバ）車イス利用者、利用できるのか。	健康/福祉
11 大東町	防災避難訓練の定期的な実施（いざ地震等の災害が発生しても困らないように）	地域づくり
12 大東町	住宅団地の今後の計画は？	地域づくり
13 大東町	人権について今後取り組みをするとありますが、現状の人権についてどのような状況と認識し、今後どのように具体的に取組まれるのか。	共生社会
14 大東町	デマンドタクシーの午後の便があると便利かなと思います。（病院、買い物等に行きやすい）	地域づくり
15 大東町	三世代世帯への支援策は？	移住・定住/関係人口
16 大東町	耕作されない土地が多くなってきている中で、民間の会社が太陽光発電を進めている。条例化の必要性を感じますが、いかがでしょうか？又、市の再生エネルギーの取組をもっとPRしてほしい。	自然環境/エネルギー
17 大東町	現在民生委員の選考を行っているが人選に苦労している。業務を多く負担に感じられているのでは・・・何かサポートするシステムは出来ないか。	健康/福祉
18 大東町	獣害対策について 捕獲したイノシシの処分を行う施設（埋葬施設整備）の整備をする考えはないか。捕獲後の最終処分のことまで考えてほしい。	地域づくり
19 大東町	空き家対策⇒「借家対策」を取り進めることを柱とした事業展開（物件、地区、対象を絞り込んで市の直接的な事業として専門課を設ける）	移住・定住/関係人口
20 大東町	エネルギー政策（エネルギー自治の実現）に向けて、市の協力的な取り組みを進め市民への理解を深める事とタイムスケジュールを明確にして欲しい（出来る事から取り組む、を具体的に展開する）	自然環境/エネルギー
21 大東町	雲南病院の中にレントゲン、聴力検査の場所、電光掲示板がないので見わかるようにつけてほしい。	健康/福祉

22	大東町	高齢のお母さん 選挙の不在者投票手書きで申請書を書くことができないので簡素化（書かなくても良い方法）してほしい。	その他
23	大東町	障害者の工賃が安いという事が言われています。仕事の確保や対策はどう考えられているのでしょうか？	健康/福祉
24	大東町	防災ラジオに字幕が出ていますが、少し文章がよめにくいです。そのためにラジオに手話通訳者をつけてみてすぐに逃げるようにしたい。	共生社会
25	大東町	聴力障害者と身体障がい者と国際交流会をやしてほしい。（日本語わからない）お互いにコミュニケーションしたいです。	共生社会
26	大東町	地域で障がい者の理解を広めてほしい。	共生社会
27	大東町	手話援護施策推進法と手話言語法は同じ内容ですか？	共生社会
28	大東町	「誰もが」の中に、市長からの説明になかった対象を挙げさせてください。現在、障害者と健常者のグレーゾーンの子どもたちとかわっています。ちょうど支援や市策の網の目からこぼれ落ちており大変です。	子育て/教育
29	大東町	市政の末端組織に自治会があるように認識しています。自治会活動の負担が多く、もう少し負担感の少ない自治会活動にしてほしい。拘束時間、金銭的拠出など。Iターンの人達にも住み易い雲南市とするためには負担感の少ない雲南市を目指して頂きたい。	地域づくり
30	大東町	草刈り応援隊はどのような方が、どのようにして来られているのでしょうか。	共生社会
31	大東町	女性にとって住みやすい町とは・・・現在考えられている施策を教えてください。	共生社会
32	大東町	子育てするなら雲南市というキャッチフレーズがあるが、他市や他県に誇れる子育て施策はなにか？	子育て/教育
33	大東町	「女性が住みにくい」というイメージを払拭するための具体的な施策は？どうしたらいい？	共生社会
34	大東町	子育てについて、雲南市はここがメリットです！といった現状をPRしていますか？出雲市や松江市から子育てしやすい町とわかれば転入したりなどされるのでは？	子育て/教育
35	大東町	若い女性の人数が将来人口に大きく影響する事を改めて認識しました。そこにスポットをあてた取組が重要です。	共生社会
36	大東町	R4からR6にかけて急激に外国住民が増加しているがその要因をどう考えておられるか？	共生社会
37	大東町	I,Uターン、外国人が増えていることは市としての取り組みの成果と思うが、外国人とのつきあい（言葉、コミュニケーション）は特になかでは難しそうだが何か方法は。	共生社会
38	大東町	地域の役割が上の世代から降りてくるが、渡す人がいない。	地域づくり
39	大東町	コミュニティの大小に関係なく、地域に住む誰もが、互いに考えを共有し、認め合うことがその地域を盛り上げていくことにつながる。	共生社会
40	大東町	同じ方向性を目指すときに、男女の考え方の差より、世代間の差が大きいと思うので、世代間での交流、意見交換を積極的にこなっては。	共生社会
41	大東町	若者が本音を言える機会を設ける。若者の声を聞く。	共生社会
42	大東町	交流人口等の市の独自のガイドラインを作成し、施策展開（旧町村単位レベルで、数値化し、公表したり、助成金を創設）するのも良い	共生社会
43	大東町	自治会に高齢者が多くて、地区で交流してなかったそうです。違う地区に交流を深めていきたいと思います。	共生社会
44	大東町	現状を数字で明確にするだけでなくその対策やスケジュール、方針も明確にして取り組むべきでは。	共生社会
45	大東町	「人口シミュレーション」の人口は具体的にはどのような方法で増加させるのか。	共生社会
46	大東町	都会とは違う「生き方」にスポットを当てるのはその通りだと思います。それらをどう発信していくかが重要です。	共生社会
47	大東町	雲南市に住む若者が今後どうしたいのか、どのようになればもっと良くなると考えているのか、聞くことが重要。	共生社会

48	大東町	さまざまなチャレンジがされていて、良い事だと思いますが、若い人の共生社会（自治会加入、コミュニティづくり）への思いをつくるのには時間がかかります。継続が大切です。	共生社会
49	大東町	Iターン者がいる地域（自治会）の人とIターン者とのコミュニケーションが「えすこ」になるために良い方法があるとよい	共生社会
50	大東町	人口減少に歯止めをかけるためには働く場所の確保が必要だと考える。企業誘致の方針・施策について教えてほしい。	産業/ビジネス
51	大東町	対外的に雲南市のうり（アピール）は何だと思われますか？	その他
52	大東町	人を大切にする気持ちを育てる為の具体的な施策が必要です。	共生社会
53	加茂町	手話で相談したいときに、手話通訳派遣を使いたい。しかし人材不足。増やしてほしい。	共生社会
54	加茂町	子どもの数が減り続けている。学校も小規模なところも多く、幼稚園も休園等もおこっている。雲南市での子育てがしやすい環境づくりをさらに進めてほしい。（財政的な問題もあるが・・・）	子育て/教育
55	加茂町	子どもを増やす努力はわかるが、現状はきびしくもっと現実をつかむべきと思う。市内の中学生には平等な教育環境をつくってやるべきと思う。	子育て/教育
56	加茂町	少子化にあって、小中学校の統廃合は考えられないか。	子育て/教育
57	加茂町	遠距離通学の小学生の通学バスの活用等を考えてほしい。	子育て/教育
58	加茂町	加茂小学校・加茂中学校校舎の耐震性能 IS値0.7～0.8 築後60年耐力度、震度6.5に耐えられるか。	子育て/教育
59	加茂町	小中学校の老朽化が著しく進んでいます。早めの対応をお願いします。	子育て/教育
60	加茂町	加茂小の体育館のトイレがこわれている。交流センター、図書館に小学生からSOSがきた。いくらでも貸せるが、避難所にもなっているのに早急に直さないといけないのでは。	子育て/教育
61	加茂町	小学校体育館トイレ至急改善を！交流センターにトイレを借りに来られている状況	子育て/教育
62	加茂町	加茂町内に住宅候補地が住民（地権者）のご理解で市にお話ししているが現在の状況は（神原、東谷、中村）	移住・定住/関係人口
63	加茂町	行政を担う職員の充足が必要と考える。現状の課題と対応策の考え方説明頂きたい。	その他
64	加茂町	市の中堅職員がやめていく。市にとって大きな損失ではないか。原因があるのか。	その他
65	加茂町	今年国勢調査がありますが雲南市は調査員を募集で集めることはされないのか聞きたいです。	その他
66	加茂町	ごみ処理施設、三市町の合同案は白紙、現在どのような状況か？	自然環境/エネルギー
67	加茂町	掛合の体育館より、国スポを控えたアスファルトの改修が先ではないか。	子育て/教育
68	加茂町	今後の市財政を考えると支出を減らすことも必要と考える。コンパクトシティなどの考え方があれば聞かせていただきたい。	地域づくり
69	加茂町	合併特例債が終わった。今後取り壊しをどうして行うのか過疎債か。	その他
70	加茂町	雲南市は議員の言う通り本当に財政状況が厳しいのか。	その他
71	加茂町	実質公債費比率について 前任者での市長までからR11以降が心配される状況です。 ①石飛市政の1期目の何が落ち込む原因か？ ②2期目の対策はどうされるのか？	その他
72	加茂町	上水道、現在節水はないか 大丈夫？推進管理の状態は？下水道は？	自然環境/エネルギー
73	加茂町	土木課の道路補修の際の印象の悪さ。市役所の対応の心地良さに感謝。	その他
74	加茂町	水不足対策補助が出来たが、営農組合では支援金が十分ではないのでは？（1/2 5～20万は足りない）	産業/ビジネス
75	加茂町	自給率UPをするには？日本は農業林業が1次産業です。？を一番に考えると⇒米作り⇒集約して大規模にする為の補助金等は考えられないか？	産業/ビジネス
76	加茂町	雲南市消防団員の要望を市からお願いを送っていただきたい。出れる出られないはあるかもしれませんが。	その他

77	加茂町	農地荒廃、獣害対策 山の管理徹底は？	産業/ビジネス
78	加茂町	脱炭素先行地域の選定を地域の手上げ方式でされるらしい。全市で取り組むべき問題ではないのか。	自然環境/エネルギー
79	加茂町	木次線の存続について ①JRとの協議状況は？ ②雲南市の今後の方針は？ ③広島市の女性副知事の様に女性幹部に交渉前面に出しては？	地域づくり
80	加茂町	地域づくりで雲南市建設部より除雪機を2台貸与いただいているが通学路にのみ使用と決められているので撤廃していただきたい。一般道、木戸道にも使用可能にしてほしい。	地域づくり
81	加茂町	地域の要望に対応してもらえない（河川の土砂とり、市道脇の木切り）自助・共助で対応すべきことは今後も増えるのか。	地域づくり
82	加茂町	赤川支流の町内河川に土砂が堆積し農作業他生活面に大きな支障が生じているので早急に対策を！！	地域づくり
83	加茂町	観光資源の充実による市の収入の増加を図ってはどうか。	産業/ビジネス
84	加茂町	女性が働ける職場、増えてますか？賃金UP中、中小企業への支援は？	産業/ビジネス
85	加茂町	空き家が増えているが市としてどういう対策、又は活動をしているか。	移住・定住/関係人口
86	加茂町	空き家活動をもっとする。	移住・定住/関係人口
87	加茂町	U・Iターン者数は、R4～R6は増加しているが、R1～R3の方がレベルが高い。なぜR4～が少なかったのか。原因を教えてください。	移住・定住/関係人口
88	加茂町	人口減少、少子高齢化は地方の責任か。国策の失敗ではないのか。	地域づくり
89	加茂町	透析が増大し、市内ではキャパオーバーとなっている現状。うわべだけの健康推進をしているのではないのか。	健康/福祉
90	加茂町	企業や商業施設を誘致することで働く場所や魅力ある町づくりを行い、人を呼びよせる。	産業/ビジネス
91	加茂町	女性人口の推計について、この目標は低いのではないのでしょうか。人を呼び込む大胆な施策は、工場誘致、出雲市、松江市のベッドタウン（直江のような）	移住・定住/関係人口
92	加茂町	少子高齢化の進行に対応した生活の利便性の確保⇒買物・移動・避難支援	地域づくり
93	加茂町	人口減少、高齢化に対し具体的な具体策を講じられますか？	地域づくり
94	加茂町	高齢一人暮らし宅で1日1回ボタンを押すことによる安否確認システムをつくるとか。	健康/福祉
95	加茂町	雲南市から地域自主組織に求められることは何か。地域の課題にどこまで市が対応するか。	地域づくり
96	加茂町	加茂町は人口は増えていると思うが自治会に入らないアパートの方々との地域づくりをどう考えるとよいか。	地域づくり
97	加茂町	自主組織活動が形骸化している。本来の目的ができないのは市からの仕事が多すぎるのではないのか。	地域づくり
98	加茂町	雲南市内、ろう者がいる地域、いない地域関係なく、手話を正しく広めてほしい。子どもも大人にも広めてほしい。	共生社会
99	加茂町	ろう者もいろいろな場で情報を知りたい。学びたい。市政懇談会みたいな手話付きの行事を増やしてほしい。	共生社会
100	木次町	市職員がもう少し地域の安全、安心環境維持に関心を持ってもらいたい。	その他
101	木次町	過去に「接遇日本一」を目指されていて、市役所、総合センター窓口の対応はとても良くなったが、Iターンする人が来られる窓口研修はどうしておられますか。	その他
102	木次町	木次体育館が老朽化している。建替えの具体的な計画は？	子育て/教育
103	木次町	子どもが少ないですが、学校の統合等の問題は現在どうなっているのでしょうか。	子育て/教育
104	木次町	出生数が100人を切る中、小中高をどう経営していく予定ですか？	子育て/教育
105	木次町	学校の統合による、地域間格差が広がる中、児童達の積極的な地域活動への参加（カリキュラム化）を！将来の雲南市のふるさと大使づくりを。	子育て/教育
106	木次町	学校の猛暑対策が早急に必要。これを学校の魅力化につなげてほしい。	子育て/教育

107	木次町	7月27日～30日にかけてインターハイレスリング競技会場で大会開催されるが盛り上げりの評価はどうか？（欠けていると思うが）	子育て/教育
108	木次町	江戸時代の教育は藩校で武士の子弟教育を行い、庶民は寺子屋で四書五経を教えたが外国では支配階級のための教育であり、これが日本の〇〇の〇〇の〇〇となり、〇〇〇〇の仲間入りができた。	子育て/教育
109	木次町	Uターン、企業チャレンジの現状、地域の偏りあるのではないかと？市への税収は？	その他
110	木次町	人口が減り自治会機能が果たせなくなっている。それに対する具体的施策は？	地域づくり
111	木次町	地域自治会人口減にともなう自治会成立しなくなった。担当人事も出来難い状況。何か良い手は？	地域づくり
112	木次町	自主組織設立から20年。今後10年に向けての若手対策！！要検討。	地域づくり
113	木次町	人口減少に対応するためにはあらゆる事がこれまで通りにはならない。組織・団体・会議等でのスリム化の考えは？	地域づくり
114	木次町	①誰もが気持ち良く暮らせる環境維持を。国道、県道、市道沿いの草刈り等、こうしたことを担当する窓口を市役所に設置願う。 ②かずらの中を歩いて通学するような事がない歩道の維持を（現状は国道沿い）	地域づくり
115	木次町	道路愛護作業の時期をずらせないか 年々あつくなって大変 若い人もいないし	地域づくり
116	木次町	旧市役所本庁舎の跡地の具体的な使用方法はあるのか？防災センター等にすることは出来ないか？	地域づくり
117	木次町	斐伊川水系河川整備計画の事業実施状況と今後市の対応方針について伺う。	地域づくり
118	木次町	各地域からの地域要望等は全て目を通してもらっているのでしょうか。「緊急性がない」等でなかなか聞いてもらえない事も多い気がします。	地域づくり
119	木次町	財政（雲南市）について よくわかる予算説明書について。財政現状と将来見込みについて伺います。	その他
120	木次町	R3年の災害以降、行政の防災への姿勢が大きく改善されてきた。地域でより一層、防災減災に取り組めるよう予算、情報など積極的！！	その他
121	木次町	雲南市内だけで考えず、他地域（奥出雲町など）の政策等も紹介してもらって、参考にしていってみたいはどうか。	その他
122	木次町	JR本当にどうする（なる）予定ですか。もっと大切な物ってないですか。	地域づくり
123	木次町	タクシーが減って、夜飲むことも減りました。	地域づくり
124	木次町	最近の熊等の問題も含め、若い人がこわがって住むのをいやがる人もいます。	自然環境/エネルギー
125	木次町	自治会内の行き止まり道路の対策について 空家住宅の定住支援はどうした支援があるか。	移住・定住/関係人口
126	木次町	特に独身者が住めるアパートが高い。相対的に出雲市が安く、そこから雲南市に通勤している者も見られる。	移住・定住/関係人口
127	木次町	Iターン来られた人と地域の人との交流が不足していると思います。誰もが参加しやすい企画を考えていかなければと思います。	移住・定住/関係人口
128	木次町	社会減、自然減⇒なぜすすむか？ 若い方が雲南に本当に住みたいと思っているか？働き場、楽しい場、交通の利便さ、医療、買い物・・・近場の市（出雲や松江）に出ているのでは。	地域づくり
129	木次町	特にIターン者の経済的自立ができていないか疑問、経済的自立ができた上で、地域とのコミュニケーションに入れると思う。	移住・定住/関係人口
130	木次町	社会動態減の改善は見られるが、地域差多くあり、何が原因で地域差が出るのか？どう対策したら改善に向かうのか。ヒントがあれば	地域づくり
131	木次町	働く場があるかどうかでも、人口の減少はあると思う、どうしても若い人は通うのに近い方を選びがち。	移住・定住/関係人口
132	三刀屋町	市議会の方も市の将来、特に財政についてけねんしておられた。えすこな雲南市のために、市民が安心できる市政運営を分かるように示してほしい。何をかえていきますか？	その他
133	三刀屋町	消防団の役割は大きいが処遇がまち合っていないと思う。なり手がいない中で、準公務員としての立場の改善を	地域づくり

134	三刀屋町	消防団に若い人がもう地元にいません！	地域づくり
135	三刀屋町	公共交通が大幅赤字と思う。空のバスをよく見かける。改善策は？地域交通は各々努力されているがそれを全市でつなげる工夫は？	地域づくり
136	三刀屋町	高齢の方が自分の家で最後までくらすためにたとえば公共交通、買い物、ゴミ捨てなどの支援（というかしくみづくり）ができないかなと考えます。どんなとりくみができそうですか。	地域づくり
137	三刀屋町	給下地区の小原橋はいつか。	地域づくり
138	三刀屋町	脱炭素関係の事業について、市民にわかりやすくていねいに、できる限り早めに説明してほしい。	自然環境/エネルギー
139	三刀屋町	コトリエットの空き店舗対策をしてほしい。せっかくホテルができたので。	産業/ビジネス
140	三刀屋町	猪、サルについての対策 道路清掃が自治会で人口減少で出来なくなっています。	地域づくり
141	三刀屋町	人口社会動態の改善を言われたが企業誘致等の施策方針はありますか？	産業/ビジネス
142	三刀屋町	安心して暮らせる地域とは、人口の維持が根幹。人口の流出を少なく、流入を増す施策が最重要。企業誘致と生活インフラの充実をすすめる。	産業/ビジネス
143	三刀屋町	働く女性の生活・育児を応援するため、小児科があるとよいと思います。どんどん病院が少なくなり心配です。	健康/福祉
144	三刀屋町	地元では道路維持管理など担い手不足、難しくなっている。	地域づくり
145	三刀屋町	島根の良さは、ある程度全国的に知られているが、生活圏として選択できるかどうか、アクセスや遠隔の地で働いたり、移動可能、IT・AIなど使い、働き方改革による場の提供の余地はないか。（関係人口、住居地と働く場の関係）	移住・定住/関係人口
146	三刀屋町	行政職員が地域に対して協力が少ない。	地域づくり
147	三刀屋町	地域で暮らす職員としてもっと頑張ろうと思います。	地域づくり
148	三刀屋町	性別役割分担について、生徒児童への学校教育での対応状況は？	子育て/教育
149	三刀屋町	島根県では学力テストの平均点を下回っているとニュースで見ました。これは先生の指導の問題なのか生徒の学習に対する意識の問題でしょうか。	子育て/教育
150	三刀屋町	「子育てしやすさ」は共生社会に大切なポイントだと思いますが、子どものない人、持たない選択をした人もくらしやすい社会のために市がとりくめることは何だと思いますか。	共生社会
151	三刀屋町	人口の社会減は改善傾向にあるものの、自治会によって極端な差が生まれ、自治会員が減少するところと、極端に増加するところがある。何らかの対策をしないと・・・と考える。	地域づくり
152	三刀屋町	子どもの数が減る見込みなので、学校の10～20年後のあり方について考えてほしい。子どもたちがすこやかに学べる環境を！例えば統合も視野に一定の規模維持とか。	子育て/教育
153	三刀屋町	空家対策--地域へ出向くなどもっと住民への広報すべきでは・・・	移住・定住/関係人口
154	三刀屋町	2拠点での住民登録制度についてどう捉えているか？	移住・定住/関係人口
155	三刀屋町	無理強いはいけませんが、いずれ帰ってきてほしいと期待の言葉を少しは言わないと帰ってこようと思わないと思う。ただ住んでいる人がこの町にいて良かったと思わないとなかなか口に出せないかもしれないので、自分のまちの良いところを自慢できるような思考の転換を自分たちもしないといけないと思う。	移住・定住/関係人口
156	三刀屋町	40代の方と話をした時に「男の子をどう育てるかだが？女の子はどうせ出ていくから」という言葉をきいた。出ていくと思って育てるので、よけい出ていくのではないかと思う。	子育て/教育
157	三刀屋町	スポーツ・文化で子どもの頃から地域の大人とつながっていたり、大人になっても活躍の場があると帰ってくるのでは。	地域づくり
158	三刀屋町	女性が定住しないだけでなく、全体的に生活が維持できないことが問題で、いなかでも十分暮らしていける在り方（中山間地の在り方）を解決することが重要であり、魅力のある街以上に安全・安心の街を目指すべきだと考える。	地域づくり
159	三刀屋町	高齢化により地域の保全が出来ない。	地域づくり
160	三刀屋町	毎年を重ねて地域の年齢が上がっていますが、将来に向けて不安があります。	地域づくり

161	三刀屋町	自治会、交流館活動に協力いただく方（一人暮らし）など多くなって活動が出来ない。自分自身高齢化している。	地域づくり
162	三刀屋町	30歳くらいから男性と女性の給料の差がくっきりと広がり始める。出産で勤続年数がかわってきたり、転勤ができないなどの条件が出てくるから。それで給料が多い都会へ行くという女性が出てくる。こういう問題を雲南市ではどう把握して、改善策はどんなものがあると思われますか？	移住・定住/関係人口
163	三刀屋町	若い女性の市外転出が課題としてあげられていたが、県外だけでなく、松江・出雲への転出対策を！市職員の方でも市外の方が増えていっちゃると。	移住・定住/関係人口
164	三刀屋町	地域協力隊を町内を回りつづけて発展する町の行政	地域づくり
165	三刀屋町	草刈り応援隊⇒定住につながっているのか。効果はどうなのか？効果あるなら、全市に広めるべき。	移住・定住/関係人口
166	三刀屋町	共生社会の実現をテーマに話されたが、もちろん数字も大事だが、具体的に向かう方向がわかりにくい。切り口はたくさんあり難しいと思いますが具体の話聞かせてください。	共生社会
167	三刀屋町	30代の方と話した時に、30くらいで一度将来について見直すので、そのタイミングで声をかけられると帰ってみようかどうしようかと迷うかもと言われた。高校卒業後のつながりの今の取り組みは継続すべきと思う。	移住・定住/関係人口
168	三刀屋町	一宮では今年度「ご近所力を高めていく」ことをテーマにしています。このことも今日の懇談会のテーマの実現につながっていくと思います。	地域づくり
169	三刀屋町	外国人との共生は今後不可欠と思うが、行政の果たす役割と地域住民地域団体（自治会等）の役割は？	共生社会
170	三刀屋町	Iターンへの取り組み。定住につながる為の取り組み、具体的な実数としての成果どうか？	移住・定住/関係人口
171	三刀屋町	人口が減少することは昭和時代にすでに予見されていたので、将来のシミュレーションをするならば、実際の減少がシミュレーションに対してどうだったかの検証とかを見てみたい。	地域づくり
172	三刀屋町	現在、自主組織や自治会での女性の参画は、「プラスアルファの負担」のように見える。女性は日々の労働＋家事＋地域参画と何刀流やればいいのか？	共生社会
173	三刀屋町	外国の方で地域に住んでおられる方と声がけなどしながらつながりが持てると災害時なども安心されると思いました。	共生社会
174	吉田町	将来的に介護難民が生じる可能性がある。介護サービスの安定的供給体制の充実が必要。	健康/福祉
175	吉田町	若い世代がそれ程ストレスなく子育てできる環境作りが必要。	子育て/教育
176	吉田町	違った価値観、意識を変えていく・思い込み等に対して具体的な取り組み、行動をどのように変化させていけばよいのか。	共生社会
177	吉田町	子ども達と、夏休みに出掛けるのに、遊び場所が遠方すぎる。市内にはほとんど無しに近い。	子育て/教育
178	吉田町	子どもが吉田町からどんどんいなくなっています。せっかく親御さんが町内で頑張っているけど、部活や友達がいらない等の理由で町外の小中学校（保育所）を希望し、やがて町内の小中学校は人数が減り、負のスパイラルになりつつあります。このことについて住民だけでは限界があります。市ではどうお考えでしょうか。	子育て/教育
179	吉田町	吉田中学校の生徒が他の町と比べると非常に少なく、学校生活が活気のある活動がおくれているのか？他の町との統合は出来ないか？	子育て/教育
180	吉田町	中学校は市内2校に！小学校できるだけこのすことにもつながる。市・教育委員会の方針を。	子育て/教育
181	吉田町	保、小は別として中学校の生徒の減少はどうするの（令和3年の災害を終えて市道にかかる橋の保守点検はだいじょうぶか？）	子育て/教育
182	吉田町	人口社会減は改善傾向にあるが、市の政策の何がそれをもたらしたのか？分析できていますか？たまたまそうなっているのでは？	移住・定住/関係人口

183	吉田町	田井に移住したいという方もいるが空き家がなかなかない。空き家があれば移住もできると思う。	移住・定住/関係人口
184	吉田町	町のみりよくといなかのみりよくのちがい？	地域づくり
185	吉田町	吉田の子どもがいない。いないから出ていく悪循環。若い人が帰ってこない、市役所の人が出ていっている。	地域づくり
186	吉田町	身近で受けられる医療、看取りも含めて、買い物も出かけるのでなくて定期的に購入システム。出来る寄り合いの場所を身近に作る	地域づくり
187	吉田町	医療へのアクセスの充実が必要	地域づくり
188	吉田町	吉田町の場合今後増々高齢者の割合が多く成ると思うがそうした環境での「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて」のテーマの考え方について身近な所での話し合いの必要性を強く感じました。	共生社会
189	吉田町	高齢者にやさしいまちづくりを目指してほしい。免許返納した時にこの地域で住み続けられるか大変不安です（通院・買い物）	地域づくり
190	吉田町	障がい者、外国人と共生するためには一人の人間として見る必要で子どもの頃からの教育が必要と思う。	共生社会
191	吉田町	今は地域で出来ている道路愛護が高齢化でこの先できるか不安です。若い人は都会にでていくので。	地域づくり
192	吉田町	道路の影切りが必要と思う、市内の特に山間部を見てほしい。	地域づくり
193	吉田町	旧町村の垣根を超えた地域づくりが必要（吉田町田井地区・木次町温泉地区）総合センター、交流センター、小中学校など。	地域づくり
194	吉田町	雲南市内6町ありますが、特に吉田町の高齢化が特化している50～55%？ 今後の人口・集落の維持など心配している。	地域づくり
195	吉田町	田井も1ターンが来られても、吉田（田井）地域に魅力がないと言われた。県外から見ても何が不足なのかわからないが一番に不便な事と言われた。	地域づくり
196	吉田町	保・小・中学校までは地元（吉田）でも可能。高は雲南・吉田以外で？なぜ、昭和は仕事が吉田に住んで可。現在は吉田に住みながら仕事が出来ないのでしょうか。	地域づくり
197	吉田町	地域づくり：年齢の高い人が多いので個人的には相談する人がいないので困っている人が多い。	地域づくり
198	吉田町	地域でリーダー的な人がいない又育っていない。	地域づくり
199	吉田町	地域づくりは人づくり。地域を支える人を育てる意識と体制の充実が必要。	地域づくり
200	吉田町	獣害について、毎日のように被害の話をききます。クマの出没も心配です。農作物もさることながら、安全についてはどうお考えでしょうか。	産業/ビジネス
201	吉田町	さる被害への対応（むづかしいかもですが）	産業/ビジネス
202	吉田町	鳥獣害対策、特にさる、イノシシ、クマの出没、さるの行動範囲、移動状況が事前にわかれば、対策もしやすいと思う。さるにGPSをつけたさるのグループがあると聞いている。	産業/ビジネス
203	吉田町	農業が今後どうなっていくことが、大きな課題だと思われる。後継者がいない。	産業/ビジネス
204	吉田町	島根県の「省力化投資支援事業（150万円限度、30%の補助事業）に対し飯南町では更に30%の助成を行っている。雲南市においても30%助成を。	産業/ビジネス
205	吉田町	猿の一斉捕獲檻について 頻繁に猿が現れる地区には増設し管理担当者も増やし、捕獲への支援を。	産業/ビジネス
206	吉田町	吉田町に観光に来てくれても昼食を食べるところもない。よって素通りしてしまう。	産業/ビジネス
207	吉田町	今回、三刀屋町にホテルが建設されましたがその周辺の町づくりについて話して頂きたい。又国道54号線4車線化について話して下さい。	産業/ビジネス
208	吉田町	災害に対する相談がしやすい窓口がほしい。川と農地、道路、対応がそれぞれ縦割りとなっているとの事。	地域づくり
209	吉田町	市道の通行止めや、解除の情報は地区の代表に知らせてほしい。以前通行を止める時だけ知らされて、解除を知らされなかった事があり住民周知が遅れた。	地域づくり

210	吉田町	市内の公共施設が中心部に多く建設されていると感じる。吉田町として取り残されているかなー？	地域づくり
211	吉田町	雲南市として20年経過しても、雲南市全体での行事が少ない。小さなコミュニティは充実していると思うが。	地域づくり
212	吉田町	田舎は固定資産税を安くしてほしい。そうすれば田舎に住む人もでくる。	地域づくり
213	吉田町	「防災に強い雲南市」のイメージをもう少し知りたいです。面積が広い、人口が少ない、高齢化が進んでいる地域では、工事などお金がたくさんかかるイメージしかありません。	地域づくり
214	吉田町	共生社会の重要さはわかるが、市政懇談会のテーマとしてとりあげるのに市の施策は見えない。精神論だけで良いのですか？	その他
215	吉田町	うんなんビジョンが絵本的なのですごく良いと思うし誰でもわかりやすくすばらしいと思います。	その他
216	吉田町	コロナの為にひさしぶりの市政懇談会だが、年1回位は行ってほしい。また議員さんも2名～3名はいっしょに来て欲しい。	その他
217	吉田町	総合センターに連絡しても、本庁からと言われ、その後の対応が悪いと思う（総合センターも本庁も何も言ってこないから）すぐに返信が必要と思う。	その他
218	吉田町	災害時の要支援者の登録について、その制度が実効性があるか見直しが必要な気がします。個人情報保護の観点と他者が支援したいと思いつながられていないのでは？	健康/福祉
219	吉田町	だんだんバス吉田町内だけでなく雲南市内病院、スーパーへも行けるようにしてほしい。	地域づくり
220	吉田町	独居の高齢者が病気になった時、車に乗らない人はバス等の利用になるが、デマンドバス等の利用のしかたがむずかしい。	地域づくり
221	吉田町	サル、猪等の作物を荒らす動物に対する対策が市として少ない様に思う。地域では作物をつくらない家も多くなっている。	産業/ビジネス
222	吉田町	「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現」のためには、市の財政が大切だと思います。今後人口が減少する中で税も減少します。現在の雲南市の財政について、今後の財政について話して頂きたい。市議会通信の中で雲南市の赤字財政について	その他
223	吉田町	触れておられます。掛合町体育館建設、ラメール修理、道の駅など・・・これらについても話して頂きたい。建設すればお金が必要、それらを負担するのは市民、では本当に必要な物は何なのでしょう？	その他
224	吉田町	雲南市の「ふるさと納税」の状況について話して頂きたい。	産業/ビジネス
225	吉田町	雲南市の財政が大変厳しいと聞く、公共施設の維持管理、修繕等、ある程度選別して、する、しない判断して計画的に取り組んで欲しい。	その他
226	吉田町	雲南市としては島根原発についてはどういう考えなのですか？	その他
227	吉田町	子育てを雲南市でしてください（職員さん）	子育て/教育
228	吉田町	特に空き家問題、地区内に将来単身世帯が多く、将来空き家が増える。何か制度を利用して、取り壊し等、地区内の安全安心につなげてほしい。	移住・定住/関係人口
229	吉田町	地域の役員、市の委員などについて。人口が少ない吉田町では同じ人にいくつもの役を頼まざるを得ず大変な負担となっています。なんとか整理し負担を減らす方向にはならないでしょうか。	地域づくり
230	吉田町	Iターンや外国の方が入ってこられも、数年後に出て行かれる例を何回か見てきた。何かとハードルもあったと思うが、地域に根づいていただく努力も地域として必要だったのかと思う。末永くこの地で暮らして頂く為のサポートとして何が必用でしょうね。	地域づくり
231	掛合町	雲南市の観光の目玉は何ですか。特に掛合の観光地、代表的な土産（特産品）がないと思われるけど・・・これからつくれますか？	産業/ビジネス
232	掛合町	掛合町の場合、飯南町との協働、コラボが新鮮！！いろいろなイベントを共同開催。奥出雲も、飯南バス利用を！	地域づくり
233	掛合町	掛合の祭りで花火をあげてほしいです。	地域づくり

234	掛合町	空家の改修費用の補助、固定資産税の補助。	移住・定住/関係人口
235	掛合町	掛合中学校裏の警察官の寮を掛合分校の生徒のための寮にするのはどうか。	子育て/教育
236	掛合町	掛合分校（男・女）寮の整備。ほとんど使われていない警察官舎「沖田寮」を活用した寮整備を「本気で検討するチームを発足すべき。掛合分校は掛合町中唯一子どもが減っていない学校であり、地域活動も盛ん。地域づくりのキーの一つとしてWin Winのバックアップを。	子育て/教育
237	掛合町	新ビジョンの内容。市職員が理解していないのではないか？（説明が出来ないことも多いようです）	その他
238	掛合町	三刀屋や木次、加茂ばかりにお金も人も流れていく。結局掛合は・・・	地域づくり
239	掛合町	自主組織の給料が安すぎる。仕事は沢山おろしてくるならもう少しそれに見合ったものと一緒にしておろしてほしい。	地域づくり
240	掛合町	救急車とは別、連絡相談者を仕立て市民の話し合いに応じるなど	地域づくり
241	掛合町	農業で生活出来るようにして下さい。	産業/ビジネス
242	掛合町	掛合・吉田に別荘地を作ってＩターンしやすい環境を作ってはどうか。地域外の人同志は集まりやすいようです。	移住・定住/関係人口
243	掛合町	若い世代に雲南市へ定住してもらうためには、働く場所が必要です。北部だけでなく南部への企業誘致はどのように進めていけますか。	産業/ビジネス
244	掛合町	県外、市外からの農業交流が以前にくらべて少なくなった。継続すれば定住につながる。	産業/ビジネス
245	掛合町	掛合郡橋	地域づくり
246	掛合町	買い物が便利になること。車を使って里にでかけなくてはならない。	地域づくり
247	掛合町	自治会戸数が減少し他自治会と合併するようになります。自治会の付き合いがむずかしくなります。どうしましょう？	地域づくり
248	掛合町	花の県外出荷 家庭加工食品 直売（設備の助成）	産業/ビジネス
249	掛合町	住宅の空き部屋を学校の寮に利用できないか。	子育て/教育
250	掛合町	掛合分校のさらなる充実化。女子寮だけでなく男の子の寮もあると良い。「無理」「出来ない」ではなく、まず話し合う場、考える場の設置を求めます。※寮の事に限らず！	子育て/教育
251	掛合町	掛合で子ども、親子であそぶ場所がない（公園もない、川で遊ぶにも遊べるような小川もない）	子育て/教育
252	掛合町	女性の人口減少を少なくすることとともに、結婚してもらうための婚活支援も必要。市としてどんな支援がありますか。	地域づくり
253	掛合町	町内にいる若い男女の出会いの場所があれば喜ぶ。市外ばかりへ出かけて行きますね。	地域づくり
254	掛合町	女性⇒人口増という考え方ですが、男性と女性がいて子どもは出来るので魅力ある男性づくり、結婚に積極的な男性づくりも必要なのでは？	地域づくり
255	掛合町	町内にも女性、男性とも独身者の方がけっこうおられると思いますが出会いの場をもっとつくってもらえれば良いと思います。	地域づくり
256	掛合町	雲南市版奨学金 大学支援金を市で援助し、地元企業等への就職を条件にする。	移住・定住/関係人口
257	掛合町	雲南市独自の奨学金制度、卒業後に雲南市で一定期間（５年以上）働き、住んだ場合に返済を一定額免除等があると良い。	移住・定住/関係人口
258	掛合町	「チャレンジ」という言葉の中にそれでも取り組める社会になったともいえる。これまでは一定のリーダーに任せておけば良かったですが、その担い手が少なくなったことが課題です。	地域づくり
259	掛合町	若い方が地域で活動しやすい場と環境とすべきと思います。年寄り小さくなっている方が良い！	地域づくり
260	掛合町	雲南市はそろそろ、旧６町の枠を取っ払って中心市街地の整備して、コンパクトシティを目指すべき。掛合は最低限の社会インフラで良いと思う（道路、水道など）	地域づくり
261	掛合町	雲南市の考える再生可能エネルギーとは何ですか。	自然環境/エネルギー
262	掛合町	掛合体育館跡地の今後はどうなりますか。	地域づくり

263	掛合町	掛合の里の緑地公園の整備はどうなりますか。道の駅のレストランは営業しているのか、していないのか。	地域づくり
264	掛合町	運転免許を返納された高齢者が市営バスを利用する際にバス停までの移動に不便されています。掛合、多根等旧市街地（旧国道）を通る路線を増設することは出来ないでしょうか。	地域づくり
265	掛合町	病院への交通において、個々での通院になっているが、グループでの通院ができないのか。	地域づくり
266	掛合町	年をとって車が運転できなくなった方がすぐに病院に行けるように、バスの場所を増やしてほしい。国道まで出るのが大変です。	地域づくり
267	掛合町	①市民バス、だんだんタクシーの接続を良くしてほしい。	地域づくり
268	掛合町	②バス停を交流センターにおいて、厚さ、寒さ対策も行えるように。	地域づくり
269	掛合町	54号線から県道39号線から出雲への市民バスを出雲市と協力して作って欲しい。	地域づくり
270	掛合町	高齢になっても外に方法が無いため、いつまでも運転せずにいられない・・・危ないかも	地域づくり
271	掛合町	防犯灯の電気代が払えない。町部の戸数が少なくなり高齢者で金を出したくない。市で管理等してもらえないか。	地域づくり
272	掛合町	高齢化がすすみ、市道等の草刈りの人員が減り、出られる者（これも高齢者）の負担が増える。（作業時間、日数）そろそろ限界。	地域づくり
273	掛合町	毎日通る市道等環境の良い道路にして下さい。車で通ると竹、小木葉等がすれて困ります。	地域づくり
274	掛合町	河川の除草作業をしてもらいたい。作業をする人がいないから。	地域づくり
275	掛合町	農地の耕作放棄地が増加しています。担い手が農地を引き受けた際に農地に隣接する市道、農道の草刈りもボランティアとして引き受けています。今後の引き受けを増やす際のネックとなります。市として草刈り支援は出来ないでしょうか。	産業/ビジネス
276	掛合町	河川の木を切ってほしい。川幅を広くして災害を防ぐ	地域づくり
277	掛合町	自治会（〇）として、月1回の常会を実施している。自治会内の意見交換という意味で有効である。こういう意味でも雲南市でも自主組織でも交換会は意味がある。住民同士の話し合いは大切である。	地域づくり
278	掛合町	元々共生社会であったと理解しています。近年このことを強調しているが、自治会等では共生社会として生活ができていたと思える。	共生社会
279	掛合町	交流人口によって、榮えていく様な気がします。意見交換会の重要性を感じます。	移住・定住/関係人口
280	掛合町	現在、社会的に女性が上位に成りつつある。家庭においても同様であると思うが、女性が中心の方が平和を感じる。男はエンの下の方力持ちと云うところか。	共生社会
281	掛合町	“えすこな”という考えのとらえ方はそれぞれ違うと思います。一つは今が少しでも幸せならいいという考えと。先をとらえた社会づくりの調整が必要でしょう。	その他
282	掛合町	地域づくりなど普段の付き合いが大切と思われる。高齢少子化も分かり切ったことかもしれないが、今を大切に生きることを考えれば一歩前に進めると思う。全体に通じることは、訪問、茶飲み話を勧めて話題をもって話すことがあればよいではないか	地域づくり
283	掛合町	タブレットを利用するのもいいが、その後の影響が心配。もう少し字を書く、文を書くことも必要では？先生の質の低下が心配。	子育て/教育
284	掛合町	体育館もない、公園もない、小学校は幼稚園なみの下校時間、子供達があそび、学ぶ時がない。先生は…勉強だけ教えるのですか？挨拶もできない先生が多すぎる。残念。	子育て/教育
285	掛合町	子どもの人数がすくなくなっているのを感じる。掛小・掛中はどうなりますか。	子育て/教育
286	掛合町	150人で続く新生児の将来の小・中学校の姿（建物）。将来を考えて、子ども、現実では老人（福祉）二刀流が可能か？	地域づくり
287	掛合町	関係人口を作っていく上で「学校」が在り続けることは重要。U・Iターン者も大事だが、今住んでいる人が出ていかない手立てを考えてほしい。	地域づくり

令和7年度市政懇談会 会場コメントカード意見まとめ【分野別】

会場	意見・提案	分類
掛合町	掛合町の場合、飯南町との協働、コラボが新鮮！！いろいろなイベントを共同開催。奥出雲も、飯南バス利用を！	地域づくり
掛合町	掛合の祭りで花火をあげてほしいです。	地域づくり
掛合町	三刀屋や木次、加茂ばかりにお金も人も流れていく。結局掛合は・・・	地域づくり
掛合町	自主組織の給料が安すぎる。仕事は沢山おろしてくるならもう少しそれに見合ったものと一緒にしておろしてほしい。	地域づくり
掛合町	救急車とは別、連絡相談者を仕立て市民の話し合いに応じるなど	地域づくり
掛合町	掛合郡橋	地域づくり
掛合町	買い物が便利になること。車を使って里にでかけなくてはならない。	地域づくり
掛合町	自治会戸数が減少し他自治会と合併するようになります。自治会の付き合いがむずかしくなります。どうしましょう？	地域づくり
掛合町	女性の人口減少を少なくすることとともに、結婚してもらうための婚活支援も必要。市としてどんな支援がありますか。	地域づくり
掛合町	町内にいる若い男女の出会いの場所があれば喜ぶ。市外ばかりへ出かけて行きますね。	地域づくり
掛合町	女性⇒人口増という考え方ですが、男性と女性がいて子どもは出来るので魅力ある男性づくり、結婚に積極的な男性づくりも必要なのでは？	地域づくり
掛合町	町内にも女性、男性とも独身者の方がけっこうおられると思いますが出会いの場をもっとつくってもらえれば良いと思います。	地域づくり
掛合町	「チャレンジ」という言葉の中にそれでも取り組める社会になったともいえる。これまでは一定のリーダーに任せておけば良かったですが、その担い手が少なくなったことが課題です。	地域づくり
掛合町	若い方が地域で活動しやすい場と環境とすべきと思います。年寄り小さくなっていた方が良い！	地域づくり
掛合町	雲南市はそろそろ、旧6町の枠を取っ払って中心市街地の整備して、コンパクトシティを目指すべき。掛合は最低限の社会インフラで良いと思う（道路、水道など）	地域づくり
掛合町	掛合体育館跡地の今後はどうなりますか。	地域づくり
掛合町	掛合の里の緑地公園の整備はどうなりますか。道の駅のレストランは営業しているのか、していないのか。	地域づくり
掛合町	運転免許を返納された高齢者が市営バスを利用する際にバス停までの移動に不便されています。掛合、多根等旧市街地（旧国道）を通る路線を増設することは出来ないでしょうか。	地域づくり
掛合町	病院への交通において、個々での通院になっているが、グループでの通院ができないのか。	地域づくり
掛合町	年をとって車が運転できなくなった方がすぐに病院に行けるように、バスの場所を増やしてほしい。国道まで出るのが大変です。	地域づくり
掛合町	①市民バス、だんだんタクシーの接続を良くしてほしい。	地域づくり
掛合町	②バス停を交流センターにおいて、厚さ、寒さ対策も行えるように。	地域づくり
掛合町	54号線から県道39号線から出雲への市民バスを出雲市と協力して作って欲しい。	地域づくり
掛合町	高齢になっても外に方法が無いため、いつまでも運転せずにいられない・・・危ないかも	地域づくり
掛合町	防犯灯の電気代が払えない。町部の戸数が少なくなり高齢者で金を出したくない。市で管理等してもらえないか。	地域づくり
掛合町	高齢化がすすみ、市道等の草刈りの人員が減り、出られる者（これも高齢者）の負担が増える。（作業時間、日数）そろそろ限界。	地域づくり

掛合町	毎日通る市道等環境の良い道路にして下さい。車で通ると竹、小木葉等がすれて困ります。	地域づくり
掛合町	河川の除草作業をしてもらいたい。作業をする人がいないから。	地域づくり
掛合町	河川の木を切ってほしい。川幅を広くして災害を防ぐ	地域づくり
掛合町	自治会（〇）として、月1回の常会を実施している。自治会内の意見交換という意味で有効である。こういう意味でも雲南市でも自主組織でも交換会は意味がある。住民同士の話し合いは大切である。	地域づくり
掛合町	地域づくりなど普段の付き合いが大切と思われる。高齢少子化も分かり切ったことかもしれないが、今を大切に生きること考えれば一歩前に進めると思う。全体に通じることは、訪問、茶飲み話を勧めて話題をもって話すことがあればよいではないか	地域づくり
掛合町	150人で続く新生児の将来の小・中学校の姿（建物）。将来を考えて、子ども、現実には老人（福祉）二刀流が可能か？	地域づくり
掛合町	関係人口を作っていく上で「学校」が在り続けることは重要。U・Iターン者も大事だが、今住んでいる人が出ていかない手立てを考えてほしい。	地域づくり
加茂町	今後の市財政を考えると支出を減らすことも必要と考える。コンパクトシティなどの考え方があれば聞かせていただきたい。	地域づくり
加茂町	木次線の存続について ①JRとの協議状況は？ ②雲南市の今後の方針は？ ③広島的女性副知事の様に女性幹部に交渉前面に出しては？	地域づくり
加茂町	地域づくりで雲南市建設部より除雪機を2台貸与いただいているが通学路にのみ使用と決められているので撤廃していただきたい。一般道、木戸道にも使用可能にしてほしい。	地域づくり
加茂町	地域の要望に対応してもらえない（河川の土砂とり、市道脇の木切り）自助・共助で対応すべきことは今後も増えるのか。	地域づくり
加茂町	赤川支流の町内河川に土砂が堆積し農作業他生活面に大きな支障が生じているので早急に対策を！！	地域づくり
加茂町	人口減少、少子高齢化は地方の責任か。国策の失敗ではないのか。	地域づくり
加茂町	少子高齢化の進行に対応した生活の利便性の確保⇒買物・移動・避難支援	地域づくり
加茂町	人口減少、高齢化に対しいかなる具体策を講じられますか？	地域づくり
加茂町	雲南市から地域自主組織に求められることは何か。地域の課題にどこまで市が対応するか。	地域づくり
加茂町	加茂町は人口は増えていると思うが自治会に入らないアパートの方々との地域づくりをどう考えるとよいか。	地域づくり
加茂町	自主組織活動が形骸化している。本来の目的ができないのは市からの仕事が多すぎるのではないのか。	地域づくり
木次町	人口が減り自治会機能が果たせなくなっている。それに対する具体的施策は？	地域づくり
木次町	地域自治会人口減にともなう自治会成立しなくなった。担当人事も出来難い状況。何か良い手は？	地域づくり
木次町	自主組織設立から20年。今後10年に向けての若手対策！！要検討。	地域づくり
木次町	人口減少に対応するためにはあらゆる事がこれまで通りにはならない。組織・団体・会議等でのスリム化の考えは？	地域づくり
木次町	①誰もが気持ち良く暮らせる環境維持を。国道、県道、市道沿いの草刈り等、こうしたことを担当する窓口を市役所に設置願う。 ②かずらの中を歩いて通学するような事がない歩道の維持を（現状は国道沿い）	地域づくり
木次町	道路愛護作業の時期をずらせないか 年々あつくなって大変 若い人もいないし	地域づくり
木次町	旧市役所本庁舎の跡地の具体的な使用方法はあるのか？防災センター等にすることは出来ないか？	地域づくり
木次町	斐伊川水系河川整備計画の事業実施状況と今後市の対応方針について伺う。	地域づくり

木次町	各地域からの地域要望等は全て目を通してもらっているのでしょうか。「緊急性がない」等でなかなか聞いてもらえない事も多い気がします。	地域づくり
木次町	JR本当にどうする（なる）予定ですか。もっと大切な物ってないですか。	地域づくり
木次町	タクシーが減って、夜飲むことも減りました。	地域づくり
木次町	社会減、自然減⇒なぜすすむか？ 若い方が雲南に本当に住みたいと思っているか？ 働き場、楽しい場、交通の利便さ、医療、買い物・・・近場の市（出雲や松江）に出ているのでは。	地域づくり
木次町	社会動態減の改善は見られるが、地域差多くあり、何が原因で地域差が出るのか？ どう対策したら改善に向かうのか。ヒントがあれば	地域づくり
大東町	市道拡幅工事の工期が大幅にずれ込んでいる工事がある。予算も膨らむ一方の様。早期に終わらせていただきたい。	地域づくり
大東町	まず、生活道の除雪と改修を考えて欲しい。県道と市道の格差の是正を考えて欲しい。雪が降っても安心して走れる路を。道路に屋根掛け。幅員拡幅	地域づくり
大東町	自治会に加入されてない方について、加入すると負担が大きくなる（自治会費、街路灯、道路愛護作業など）から加入されない方がおられる。行政としては今どのように対応されているか。（災害、防災など万一の時の対応はどうすればいいのか）	地域づくり
大東町	社会基盤の整備、市道の管理（なぜ住民が道路の整備、法面の除草をしなければならないか。税金を払った上に無償で行わなければならないのか。）私ができなくなれば40a位の除草はする者がいなくなります。	地域づくり
大東町	市道の往路愛護を1回から2回にされた説明が不足 何故2回、どこの道路を清掃してほしいなど 任意の協力であることの強調	地域づくり
大東町	水道の整備がされていない地域があります。今夏の水不足が心配です。（全て山水で賄っています）	地域づくり
大東町	駅前自治会には駅前振興会という活動があります。又駅前自治会には、外国人技能実習生を受け入れている会社や、通信制高校のサポート校もありますが、振興会の活動には参加させてもらえません。排除感がぬぐえませんが、理由はよくわかりません。	地域づくり
大東町	防災避難訓練の定期的な実施（いざ地震等の災害が発生しても困らないように）	地域づくり
大東町	住宅団地の今後の計画は？	地域づくり
大東町	デマンドタクシーの午後の便があると便利かなと思います。（病院、買い物等に行きやすい）	地域づくり
大東町	獣害対策について 捕獲したイノシシの処分を行う施設（埋葬施設整備）の整備をする考えはないか。捕獲後の最終処分のことまで考えてほしい。	地域づくり
大東町	市政の末端組織に自治会があるように認識しています。自治会活動の負担が多く、もう少し負担感の少ない自治会活動にしてほしい。拘束時間、金銭的拠出など。1ターンの人達にも住み易い雲南市とするためには負担感の少ない雲南市を目指して頂きたい。	地域づくり
大東町	地域の役割が上の世代から降りてくるが、渡す人がいない。	地域づくり
三刀屋町	消防団の役割は大きいが処遇がまち合っていないと思う。なり手がないうちで、準公務員としての立場の改善を	地域づくり
三刀屋町	消防団に若い人がもう地元にいません！	地域づくり
三刀屋町	公共交通が大幅赤字と思う。空のバスをよく見かける。改善策は？ 地域交通は各々努力されているがそれを全市でつなげる工夫は？	地域づくり
三刀屋町	高齢の方が自分の家で最後までくらすためにたとえば公共交通、買い物、ゴミ捨てなどの支援（というかしくみづくり）ができないかなと考えます。どんなとりくみができそうですか。	地域づくり
三刀屋町	給下地区の小原橋はいつか。	地域づくり
三刀屋町	猪、サルについての対策 道路清掃が自治会で人口減少で出来なくなっています。	地域づくり
三刀屋町	地元では道路維持管理など担い手不足、難しくなっている。	地域づくり
三刀屋町	行政職員が地域に対して協力が少ない。	地域づくり

三刀屋町	地域で暮らす職員としてもっと頑張ろうと思います。	地域づくり
三刀屋町	人口の社会減は改善傾向にあるものの、自治会によって極端な差が生まれ、自治会員が減少するところと、極端に増加するところがある。何らかの対策をしないと・・・と考える。	地域づくり
三刀屋町	スポーツ・文化で子どもの頃から地域の大人とつながっていたり、大人になっても活躍の場があると帰ってくるのでは。	地域づくり
三刀屋町	女性が定住しないだけでなく、全体的に生活が維持できないことが問題で、いなかでも十分暮らしていける在り方（中山間地の在り方）を解決することが重要であり、魅力のある街以上に安全・安心の街を目指すべきだと考える。	地域づくり
三刀屋町	高齢化により地域の保全が出来ない。	地域づくり
三刀屋町	毎年年を重ねて地域の年齢が上がっていきませんが、将来に向けて不安があります。	地域づくり
三刀屋町	自治会、交流館活動に協力いただく方（一人暮らし）など多くなって活動が出来ない。自分自身高齢化している。	地域づくり
三刀屋町	地域協力隊を町内を回りつづけて発展する町の行政	地域づくり
三刀屋町	一宮では今年度「ご近所力を高めていく」ことをテーマにしています。このことも今日の懇談会のテーマの実現につながっていくと思います。	地域づくり
三刀屋町	人口が減少することは昭和時代にすでに予見されていたので、将来のシミュレーションをするならば、実際の減少がシミュレーションに対してどうだったかの検証とかを見てみたい。	地域づくり
吉田町	町のみりょくといなかのみりょくのちがい？	地域づくり
吉田町	吉田の子どもがいない。いないから出ていく悪循環。若い人が帰ってこない、市役所の人が出ていっている。	地域づくり
吉田町	身近で受けられる医療、看取りも含めて、買い物も出かけるのではなく定期的に購入システム。出来る寄り合いの場所を身近に作る	地域づくり
吉田町	医療へのアクセスの充実が必要	地域づくり
吉田町	高齢者にやさしいまちづくりを目指してほしい。免許返納した時にこの地域で住み続けられるか大変不安です（通院・買い物）	地域づくり
吉田町	今は地域で出来ている道路愛護が高齢化でこの先できるか不安です。若い人は都会にでていくので。	地域づくり
吉田町	道路の影切りが必要と思う、市内の特に山間部を見てほしい。	地域づくり
吉田町	旧町村の垣根を超えた地域づくりが必要（吉田町田井地区・木次町温泉地区）総合センター、交流センター、小中学校など。	地域づくり
吉田町	雲南市内6町ありますが、特に吉田町の高齢化が特化している50～55%？ 今後の人口・集落の維持等など心配している。	地域づくり
吉田町	田井も1ターンが来られても、吉田（田井）地域に魅力がないと言われた。県外から見て何が不足なのかかわからないが一番に不便な事と言われた。	地域づくり
吉田町	保・小・中学校までは地元（吉田）でも可能。高次は雲南・吉田以外で？なぜ、昭和は仕事が吉田に住んで可。現在は吉田に住みながら仕事が出来ないのでしょうか。	地域づくり
吉田町	地域づくり：年齢の高い人が多いので個人的には相談する人がいないので困っている人が多い。	地域づくり
吉田町	地域でリーダー的な人がいない又育っていない。	地域づくり
吉田町	地域づくりは人づくり。地域を支える人を育てる意識と体制の充実が必要。	地域づくり
吉田町	災害に対する相談がしやすい窓口がほしい。川と農地、道路、対応がそれぞれ縦割りとなっているとの事。	地域づくり
吉田町	市道の通行止めや、解除の情報は地区の代表に知らせてほしい。以前通行を止める時だけ知らされて、解除を知らされなかった事があり住民周知が遅れた。	地域づくり
吉田町	市内の公共施設が中心部に多く建設されていると感じる。吉田町として取り残されているかな？	地域づくり
吉田町	雲南市として20年経過しても、雲南市全体での行事が少ない。小さなコミュニティは充実していると思うが。	地域づくり

吉田町	田舎は固定資産税を安くしてほしい。そうすれば田舎に住む人もでてる。	地域づくり
吉田町	「防災に強い雲南市」のイメージをもう少し知りたいです。面積が広い、人口が少ない、高齢化が進んでいる地域では、工事などお金がたくさんかかるイメージしかないです。	地域づくり
吉田町	だんだんバス吉田町内だけでなく雲南市内病院、スーパーへも行けるようにしてほしい。	地域づくり
吉田町	独居の高齢者が病気になった時、車に乗らない人はバス等の利用になるが、デマンドバス等の利用のしかたがむずかしい。	地域づくり
吉田町	地域の役員、市の委員などについて。人口が少ない吉田町では同じ人にいくつもの役を頼まざるを得ず大変な負担となっています。なんとか整理し負担を減らす方向にはならないでしょうか。	地域づくり
吉田町	Ｉターンや外国の方が入ってこれども、数年後に出て行かれる例を何回か見てきた。何かとハードルもあったと思うが、地域に根づいていただく努力も地域として必要だったのかと思う。末永くこの地で暮らして頂く為のサポートとして何が必用でしょうね。	地域づくり
掛合町	新ビジョンの内容。市職員が理解していないのではないか？（説明が出来ないことも多いようです）	その他
掛合町	“えすこな”という考えのとらえ方はそれぞれ違うと思います。一つは今が少しでも幸せならいいという考えと。先をとらえた社会づくりの調整が必要でしょう。	その他
加茂町	行政を担う職員の充足が必要と考える。現状の課題と対応策の考え方説明頂きたい。	その他
加茂町	市の中堅職員がやめていく。市にとって大きな損失ではないか。原因があるのか。	その他
加茂町	今年国勢調査がありますが雲南市は調査員を募集で集めることはされないのか聞きたいです。	その他
加茂町	合併特例債が終わった。今後取り壊しをどうして行うのか過疎債か。	その他
加茂町	雲南市は議員の言う通り本当に財政状況が厳しいのか。	その他
加茂町	実質公債費比率について 前任者での市長までからＲ１１以降が心配される状況です。 ①石飛市政の１期目の何が落ち込む原因か？ ②２期目の対策はどうされるのか？	その他
加茂町	土木課の道路補修の際の印象の悪さ。市役所の対応の心地良さに感謝。	その他
加茂町	雲南市消防団員の要望を市からお願いを送っていただきたい。出れる出られないはあるかもしれませんが。	その他
木次町	市職員がもう少し地域の安全、安心環境維持に関心を持ってもらいたい。	その他
木次町	過去に「接遇日本一」を目指されていて、市役所、総合センター窓口の対応はとても良くなったが、Ｉターンする人が来られる窓口研修はどうしておられますか。	その他
木次町	ＵＩターン、企業チャレンジの現状、地域の偏りあるのではないかと？市への税収は？	その他
木次町	財政（雲南市）について よくわかる予算説明書について。財政現状と将来見込みについて伺います。	その他
木次町	R3年の災害以降、行政の防災への姿勢が大きく改善されてきた。地域でより一層、防災減災に取り組めるよう予算、情報など積極的！！	その他
木次町	雲南市内だけで考えず、他地域（奥出雲町など）の政策等も紹介してもらって、参考にしてみてもどうか。	その他
大東町	高齢のお母さん 選挙の不在者投票手書きで申請書を書くことができないので簡素化（書かなくても良い方法）してほしい。	その他
大東町	対外的に雲南市のうり（アピール）は何だと思われますか？	その他
三刀屋町	市議会の方も市の将来、特に財政についてけねんしておられた。えすこな雲南市のために、市民が安心できる市政運営を分かるように示してほしい。何をかえていきますか？	その他

吉田町	共生社会の重要さはわかるが、市政懇談会のテーマとしてとりあげるのに市の施策は見えない。精神論だけで良いのですか？	その他
吉田町	うなんんビジョンが絵本的なのですごく良いと思うし誰でもわかりやすくすばらしいと思います。	その他
吉田町	コロナの為にひさしぶりの市政懇談会だが、年1回位は行ってほしい。また議員さんも2名～3名はいっしょに来て欲しい。	その他
吉田町	総合センターに連絡しても、本庁からと言われ、その後の対応が悪いと思う（総合センターも本庁も何も言っていないから）すぐに返信が必要と思う。	その他
吉田町	「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現」のためには、市の財政が大切だと思います。今後人口が減少する中で税も減少します。現在の雲南市の財政について、今後の財政について話して頂きたい。市議会通信の中で雲南市の赤字財政について	その他
吉田町	触れておられます。掛合町体育館建設、ラメール修理、道の駅など・・・これらについても話して頂きたい。建設すればお金が必要、それらを負担するのは市民、では本当に必要な物は何なのでしょう？	その他
吉田町	雲南市の財政が大変厳しいと聞く、公共施設の維持管理、修繕等、ある程度選別して、する、しない判断して計画的に取り組んで欲しい。	その他
吉田町	雲南市としては島根原発についてはどういう考えなのですか？	その他
掛合町	雲南市の考える再生可能エネルギーとは何ですか。	自然環境/エネルギー
加茂町	ごみ処理施設、三市町の合同案は白紙、現在どのような状況か？	自然環境/エネルギー
加茂町	上水道、現在節水はないか 大丈夫？推進管理の状態は？下水道は？	自然環境/エネルギー
加茂町	脱炭素先行地域の選定を地域の手上げ方式でされるらしい。全市で取り組むべき問題ではないのか。	自然環境/エネルギー
木次町	最近の熊等の問題も含め、若い人がこわがって住むのをいやがる人もいます。	自然環境/エネルギー
大東町	耕作されない土地が多くなってきている中で、民間の会社が太陽光発電を進めている。条例化の必要性を感じますが、いかがでしょうか？又、市の再生エネルギーの取組をもっとPRしてほしい。	自然環境/エネルギー
大東町	エネルギー政策（エネルギー自治の実現）に向けて、市の協力的な取り組みを進め市民への理解を深める事とタイムスケジュールを明確にして欲しい（出来る事から取り組む、を具体的に展開する）	自然環境/エネルギー
三刀屋町	脱炭素関係の事業について、市民にわかりやすくていねいに、できる限り早めに説明してほしい。	自然環境/エネルギー
掛合町	雲南市の観光の目玉は何ですか。特に掛合の観光地、代表的な土産（特産品）がないと思われるけど・・・これからつくれますか？	産業/ビジネス
掛合町	農業で生活出来るようにして下さい。	産業/ビジネス
掛合町	若い世代に雲南市へ定住してもらうためには、働く場所が必要です。北部だけでなく南部への企業誘致はどのように進めていけますか。	産業/ビジネス
掛合町	県外、市外からの農業交流が以前にくらべて少なくなった。継続すれば定住につながる。	産業/ビジネス
掛合町	花の県外出荷 家庭加工食品 直売（設備の助成）	産業/ビジネス
掛合町	農地の耕作放棄地が増加しています。担い手が農地を引き受けた際に農地に隣接する市道、農道の草刈りもボランティアとして引き受けています。今後の引き受けを増やす際のネックとなります。市として草刈り支援は出来ないでしょうか。	産業/ビジネス
加茂町	水不足対策補助が出来たが、営農組合では支援金が十分ではないのでは？（1/2 5～20万は足りない）	産業/ビジネス
加茂町	自給率UPをするには？日本は農業林業が1次産業です。？を一番に考えると⇒米作り⇒集約して大規模にする為の補助金等は考えられないか？	産業/ビジネス
加茂町	農地荒廃、獣害対策 山の管理徹底は？	産業/ビジネス
加茂町	観光資源の充実による市の収入の増加を図ってはどうか。	産業/ビジネス
加茂町	女性が働ける職場、増えてますか？賃金UP中、中小企業への支援は？	産業/ビジネス

加茂町	企業や商業施設を誘致することで働く場所や魅力ある町づくりを行い、人を呼びよせる。	産業/ビジネス
大東町	人口減少に歯止めをかけるためには働く場所の確保が必要だと考える。企業誘致の方針・施策について教えてほしい。	産業/ビジネス
三刀屋町	コトリエットの空き店舗対策をしてほしい。せっかくホテルができたので。	産業/ビジネス
三刀屋町	人口社会動態の改善を言われたが企業誘致等の施策方針はありますか？	産業/ビジネス
三刀屋町	安心して暮らせる地域とは、人口の維持が根幹。人口の流出を少なく、流入を増す施策が最重要。企業誘致と生活インフラの充実をすすめる。	産業/ビジネス
吉田町	獣害について、毎日のように被害の話をききます。クマの出没も心配です。農作物もさることながら、安全についてはどうお考えでしょうか。	産業/ビジネス
吉田町	さる被害への対応（むづかしいかもですが）	産業/ビジネス
吉田町	鳥獣害対策、特にさる、イノシシ、クマの出没、さるの行動範囲、移動状況が事前にわかれば、対策もしやすいと思う。さるにGPSをつけたさるのグループがあると聞いている。	産業/ビジネス
吉田町	農業が今後どうなっていくことが、大きな課題だと思われる。後継者がいない。	産業/ビジネス
吉田町	島根県の「省力化投資支援事業（150万円限度、30%の補助事業）に対し飯南町では更に30%の助成を行っている。雲南市においても30%助成を。	産業/ビジネス
吉田町	猿の一斉捕獲檻について 頻繁に猿が現れる地区には増設し管理担当者も増やし、捕獲への支援を。	産業/ビジネス
吉田町	吉田町に観光に来てくても昼食を食べるところもない。よって素通りしてしまう。	産業/ビジネス
吉田町	今回、三刀屋町にホテルが建設されましたがその周辺の町づくりについて話して頂きたい。又国道54号線4車線化について話して下さい。	産業/ビジネス
吉田町	サル、猪等の作物を荒らす動物に対する対策が市として少ない様に思う。地域では作物をつくらない家も多くなっている。	産業/ビジネス
吉田町	雲南市の「ふるさと納税」の状況について話して頂きたい。	産業/ビジネス
掛合町	掛合中学校裏の警察官の寮を掛合分校の生徒のための寮にするのはどうか。	子育て/教育
掛合町	掛合分校（男・女）寮の整備。ほとんど使われていない警察官舎「沖田寮」を活用した寮整備を「本気で検討するチームを発足すべき。掛合分校は掛合町中唯一子どもが減っていない学校であり、地域活動も盛ん。地域づくりのキーの一つとしてWin Winのバックアップを。	子育て/教育
掛合町	住宅の空き部屋を学校の寮に利用できないか。	子育て/教育
掛合町	掛合分校のさらなる充実化。女子寮だけでなく男の子の寮もあると良い。「無理」「出来ない」ではなく、まず話し合う場、考える場の設置を求めます。※寮の事に限らず！	子育て/教育
掛合町	掛合で子ども、親子であそぶ場所がない（公園もない、川で遊ぶにも遊べるような小川もない）	子育て/教育
掛合町	タブレットを利用するのもいいが、その後の影響が心配。もう少し字を書く、文を書くことも必要では？先生の質の低下が心配。	子育て/教育
掛合町	体育館もない、公園もない、小学校は幼稚園なみの下校時間、子供達があそび、学ぶ時がない。先生は…勉強だけ教えるのですか？挨拶もできない先生が多すぎる。残念。	子育て/教育
掛合町	子どもの人数がすくなくなっているのを感じる。掛小・掛中はどうなりますか。	子育て/教育
掛合町	中学生・高校生 地元の子供を育てる。定住する事が大切ではない。	子育て/教育
掛合町	子供がふるさとに帰ってくるのは親の教育と地域の皆様の気持ちだと思います。（学校では、ふるさと教育も大事だと思います。）	子育て/教育
掛合町	給食費の保護者負担が増えても量や質を向上させてほしい。無償化の議論ばかりしないでほしい。	子育て/教育

加茂町	子どもの数が減り続けている。学校も小規模なところも多く、幼稚園も休園等もおこっている。雲南市での子育てがしやすい環境づくりをさらに進めてほしい。（財政的な問題もあるが・・・）	子育て/教育
加茂町	子どもを増やす努力はわかるが、現状はきびしくもっと現実をつかむべきと思う。市内の中学生には平等な教育環境をつくってやるべきと思う。	子育て/教育
加茂町	少子化にあって、小中学校の統廃合は考えられないか。	子育て/教育
加茂町	遠距離通学の小学生の通学バスの活用等を考えてほしい。	子育て/教育
加茂町	加茂小学校・加茂中学校校舎の耐震性能 IS値0.7～0.8 築後60年耐力度、震度6.5に耐えられるか。	子育て/教育
加茂町	小中学校の老朽化が著しく進んでいます。早めの対応をお願いします。	子育て/教育
加茂町	加茂小の体育館のトイレがこわれている。交流センター、図書館に小学生からSOSがきた。いくらでも貸せるが、避難所にもなっているのに早急に直さないといけないのでは。	子育て/教育
加茂町	小学校体育館トイレ至急改善を！交流センターにトイレを借りに来られている状況	子育て/教育
加茂町	掛合の体育館より、国スポを控えたアスバルの改修が先ではないか。	子育て/教育
木次町	木次体育館が老朽化している。建替えの具体的な計画は？	子育て/教育
木次町	子どもが少ないですが、学校の統合等の問題は現在どうなっているのでしょうか。	子育て/教育
木次町	出生数が100人を切る中、小中高をどう経営していく予定ですか？	子育て/教育
木次町	学校の統合による、地域間格差が広がる中、児童達の積極的な地域活動への参加（カリキュラム化）を！将来の雲南市のふるさと大使づくりを。	子育て/教育
木次町	学校の猛暑対策が早急に必要。これを学校の魅力化につなげてほしい。	子育て/教育
木次町	7月27日～30日にかけてインターハイレスリング競技会場で大会開催されるが盛り上げりの評価はどうか？（欠けていると思うが）	子育て/教育
木次町	江戸時代の教育は藩校で武士の子弟教育を行い、庶民は寺子屋で四書五経を教えたが外国では支配階級のための教育であり、これが日本の〇〇の〇〇の〇〇となり、〇〇〇〇の仲間入りができた。	子育て/教育
大東町	国の助成金を活用した住民サービス、生活の向上のための策はないのか？建設業（私の場合は建築関係）で活用できる長寿子育て支援策等あるのでその辺を市としてもっと活用推進すべきと思う。	子育て/教育
大東町	「誰もが」の中に、市長からの説明になかった対象を挙げさせてください。現在、障害者と健常者のグレーゾーンの子どもたちとかわっています。ちょうど支援や市策の網の目からこぼれ落ちており大変です。	子育て/教育
大東町	子育てするなら雲南市というキャッチフレーズがあるが、他市や他県に誇れる子育て施策はなにか？	子育て/教育
大東町	子育てについて、雲南市はここがメリットです！といった現状をPRしていますか？出雲市や松江市から子育てしやすい町とわかれば転入したりなどされるのでは？	子育て/教育
三刀屋町	性別役割分担について、生徒児童への学校教育での対応状況は？	子育て/教育
三刀屋町	島根県では学力テストの平均点を下回っているとニュースで見ました。これは先生の指導の問題なのか生徒の学習に対する意識の問題でしょうか。	子育て/教育
三刀屋町	子どもの数が減る見込みなので、学校の10～20年後のあり方について考えてほしい。子どもたちがすこやかに学べる環境を！例えば統合も視野に一定の規模維持とか。	子育て/教育
三刀屋町	40代の方と話をした時に「男の子をどう育てるかだが？女の子はどうせ出ていくから」という言葉をきいた。出ていくと思って育てるので、よけい出ていくのではないかと思う。	子育て/教育
吉田町	若い世代がそれ程ストレスなく子育てできる環境作りが必要。	子育て/教育
吉田町	子ども達と、夏休みに出掛けるのに、遊び場所が遠方すぎる。市内にはほとんど無しに近い。	子育て/教育

吉田町	子どもが吉田町からどんどんいなくなっています。せっかく親御さんが町内で頑張っている、部活や友達がいらない等の理由で町外の小中学校（保育所）を希望し、やがて町内の小中学校は人数が減り、負のスパイラルになりつつあります。このことについて住民だけでは限界があります。市ではどうお考えでしょうか。	子育て/教育
吉田町	吉田中学校の生徒が他の町と比べると非常に少なく、学校生活が活気のある活動がおこなわれているのかきもん？他の町との統合は出来ないか？	子育て/教育
吉田町	中学校は市内2校に！ 小学校できるだけのかすことにもつながる。市・教育委員会の方針を。	子育て/教育
吉田町	保、小は別として中学校の生徒の減少はどうするの（令和3年の災害を終えて市道にかかる橋の保守点検はだいじょうぶか？）	子育て/教育
吉田町	子育てを雲南市でしてください（職員さん）	子育て/教育
加茂町	透析が増大し、市内ではキャパオーバーとなっている現状。うわべだけの健康推進をしているのではないか。	健康/福祉
加茂町	高齢一人暮らし宅で1日1回ボタンを押すことによる安否確認システムをつくらどうか。	健康/福祉
大東町	認知症対応のデイサービス施設が休業したり人手不足で利用しづらい、頼みにくい、利用する側がストレスを感じている。	健康/福祉
大東町	高齢者避難毎年のように出るが、本当に避難できるのか（キャパ）車イス利用者、利用できるのか。	健康/福祉
大東町	現在民生委員の選考を行っているが人選に苦労している。業務を多く負担に感じられているのでは・・・何かサポートするシステムは出来ないか。	健康/福祉
大東町	雲南病院の中にレントゲン、聴力検査の場所、電光掲示板がないので見わかるようにつけてほしい。	健康/福祉
大東町	障害者の工賃が安いという事が言われています。仕事の確保や対策はどう考えられているのでしょうか？	健康/福祉
三刀屋町	働く女性の生活・育児を応援するため、小児科があるとよいと思います。どんどん病院が少なくなり心配です。	健康/福祉
吉田町	将来的に介護難民が生じる可能性がある。介護サービスの安定的供給体制の充実が必要。	健康/福祉
吉田町	災害時の要支援者の登録について、その制度が実効性があるか見直しが必要な気がします。個人情報保護の観点と他者が支援したいと思いをつなげられていないのでは？	健康/福祉
掛合町	元々共生社会であったと理解しています。近年このことを強調しているが、自治会等では共生社会として生活ができていたと思える。	共生社会
掛合町	現在、社会的に女性が上位に成りつつある。家庭においても同様であると思うが、女性が中心の方が平和を感じる。男はエンの下の方の力持ちと云うところか。	共生社会
加茂町	手話で相談したいときに、手話通訳派遣を使いたい。しかし人材不足。増やしてほしい。	共生社会
加茂町	雲南市内、ろう者がいる地域、いない地域関係なく、手話を正しく広めてほしい。子どもも大人にも広めてほしい。	共生社会
加茂町	ろう者もいろいろな場で情報を知りたい。学びたい。市政懇談会みたいな手話付きの行事を増やしてほしい。	共生社会
大東町	人権について今後取り組みをするとありますが、現状の人権についてどのような状況と認識し、今後どのように具体的に取り組まれるのか。	共生社会
大東町	防災ラジオに字幕が出ていますが、少し文章がよめにくいです。そのためにラジオに手話通訳者をつけてみてすぐに逃げるようにしたい。	共生社会
大東町	聴力障害者と身体障がい者と国際交流会をやってほしい。（日本語わからない）お互いにコミュニケーションしたいです。	共生社会
大東町	地域で障がい者の理解を広めてほしい。	共生社会
大東町	手話援護施策推進法と手話言語法は同じ内容ですか？	共生社会

大東町	草刈り応援隊はどのような方が、どのようにして来られているのでしょうか。	共生社会
大東町	女性にとって住みやすい町とは・・・現在考えられている施策を教えてください。	共生社会
大東町	「女性が住みにくい」というイメージを払拭するための具体的な施策は？どうしたらいい？	共生社会
大東町	若い女性の人数が将来人口に大きく影響する事を改めて認識しました。そこにスポットをあてた取組が重要です。	共生社会
大東町	R4からR6にかけて急激に外国住民が増加しているがその要因をどう考えておられるか？	共生社会
大東町	I,Uターン、外国人が増えていることは市としての取り組みの成果と思うが、外国人とのつきあい（言葉、コミュニケーション）は特にいなかでは難しそうだが何か方法は。	共生社会
大東町	コミュニティの大小に関係なく、地域に住む誰もが、互いに考えを共有し、認め合うことがその地域を盛り上げていくことにつながる。	共生社会
大東町	同じ方向性を目指すときに、男女の考え方の差より、世代間の差が大きいのと思うので、世代間での交流、意見交換を積極的におこなっては。	共生社会
大東町	若者が本音を言える機会を設ける。若者の声を聞く。	共生社会
大東町	交流人口等の市の独自のガイドラインを作成し、施策展開（旧町村単位レベルで、数値化し、公表したり、助成金を創設）するのも良い	共生社会
大東町	自治会に高齢者が多くて、地区で交流してなかったそうです。違う地区に交流を深めていきたいと思います。	共生社会
大東町	現状を数字で明確にするだけでなくその対策やスケジュール、方針も明確にして取り組むべきでは。	共生社会
大東町	‘人口シミュレーション’の人口は具体的にはどのような方法で増加させるのか。	共生社会
大東町	都会とは違う‘生き方’にスポットを当てるのはその通りだと思います。それらをどう発信していくかが重要です。	共生社会
大東町	雲南市に住む若者が今後どうしたいのか、どのようになればもっと良くなると考えているのか、聞くことが重要。	共生社会
大東町	さまざまなチャレンジがされていて、良い事だと思いますが、若い人の共生社会（自治会加入、コミュニティづくり）への思いをつくるのには時間がかかります。継続が大切です。	共生社会
大東町	Iターン者がいる地域（自治会）の人とIターン者とのコミュニケーションが「えすこ」になるために良い方法があるとよい	共生社会
大東町	人を大切にする気持ちを育てる為の具体的な施策が必要です。	共生社会
三刀屋町	「子育てしやすさ」は共生社会に大切なポイントだと思いますが、子どものない人、持たない選択をした人もくらしやすい社会のために市がとりくめることは何だと思いますか。	共生社会
三刀屋町	共生社会の実現をテーマに話されたが、もちろん数字も大事だが、具体的に向かう方向がわかりにくい。切り口はたくさんあり難しいと思いますが具体的話を聞かせてください。	共生社会
三刀屋町	外国人との共生は今後不可欠と思うが、行政の果たす役割と地域住民地域団体（自治会等）の役割は？	共生社会
三刀屋町	現在、自主組織や自治会での女性の参画は、「プラスアルファの負担」のように見える。女性は日々の労働＋家事＋地域参画と何刀流やればいいのか？	共生社会
三刀屋町	外国の方で地域に住んでおられる方と声がけなどしながらつながりが持てると災害時なども安心されると思いました。	共生社会
吉田町	違った価値観、意識を変えていく・思い込み等に対して具体的な取り組み、行動をどのように変化させていけばよいのか。	共生社会
吉田町	吉田町の場合今後増々高齢者の割合が多く成ると思うがそうした環境での「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて」のテーマの考え方について身近な所での話し合いの必要性を強く感じました。	共生社会

吉田町	障がい者、外国人と共生するためには一人の人間として見る必要で子どもの頃からの教育が必要と思う。	共生社会
掛合町	空家の改修費用の補助、固定資産税の補助。	移住・定住/関係人口
掛合町	掛合・吉田に別荘地を作ってIターンしやすい環境を作ってはどうか。地域外の人同志は集まりやすいようです。	移住・定住/関係人口
掛合町	雲南市版奨学金 大学支援金を市で援助し、地元企業等への就職を条件にする。	移住・定住/関係人口
掛合町	雲南市独自の奨学金制度、卒業後に雲南市で一定期間（5年以上）働き、住んだ場合に返済を一定額免除等があると良い。	移住・定住/関係人口
掛合町	交流人口によって、栄えていく様な気がします。意見交換会の重要性を感じます。	移住・定住/関係人口
加茂町	加茂町内に住宅候補地が住民（地権者）のご理解で市にお話ししているが現在の状況は（神原、東谷、中村）	移住・定住/関係人口
加茂町	空き家が増えているが市としてどういう対策、又は活動をしているか。	移住・定住/関係人口
加茂町	空き家活動をもっとする。	移住・定住/関係人口
加茂町	U・Iターン者数は、R4～R6は増加しているが、R1～R3の方がレベルが高い。なぜR4～が少なかったのか。原因を教えてください。	移住・定住/関係人口
加茂町	女性人口の推計について、この目標は低いのではないのでしょうか。人を呼び込む大胆な施策は、工場誘致、出雲市、松江市のベッドタウン（直江のような）	移住・定住/関係人口
木次町	自治会内の行き止まり道路の対策について 空家住宅の定住支援はどうした支援があるか。	移住・定住/関係人口
木次町	特に独身者が住めるアパートが高い。相対的に出雲市が安く、そこから雲南市に通勤している者も見られる。	移住・定住/関係人口
木次町	Iターン来られた人と地域の人との交流が不足していると思います。誰もが参加しやすい企画を考えていかなければと思います。	移住・定住/関係人口
木次町	特にIターン者の経済的自立ができていないか疑問、経済的自立ができた上で、地域とのコミュニケーションに入れると思う。	移住・定住/関係人口
木次町	働く場があるかどうかでも、人口の減少はあると思う、どうしても若い人は通うのに近い方を選びがち。	移住・定住/関係人口
大東町	三世帯世帯への支援策は？	移住・定住/関係人口
大東町	空き家対策⇒「借家対策」を取り進めることを柱とした事業展開（物件、地区、対象を絞り込んで市の直接的な事業として専門課を設ける）	移住・定住/関係人口
三刀屋町	島根の良さは、ある程度全国的に知られているが、生活圏として選択できるかどうか、アクセスや遠隔の地で働いたり、移動可能、IT・AIなど使い、働き方改革による場の提供の余地はないか。（関係人口、住居地と働く場の関係）	移住・定住/関係人口
三刀屋町	空家対策--地域へ向くなどもっと住民への広報すべきでは・・・	移住・定住/関係人口
三刀屋町	2拠点での住民登録制度についてどう捉えているか？	移住・定住/関係人口
三刀屋町	無理強いはいけませんが、いずれ帰ってきてほしいと期待の言葉を少しは言わないと帰ってこようと思わないと思う。ただ住んでいる人がこの町にいて良かったと思わないとなかなか口に出せないかもしれないので、自分のまちの良いところを自慢できるような思考の転換を自分たちもしないといけないと思う。	移住・定住/関係人口
三刀屋町	30歳くらいから男性と女性の給料の差がくっきりと広がり始める。出産で勤続年数がかわってきたり、転職ができないなどの条件が出てくるから。それで給料が多い都会へ行くという女性が出てくる。こういう問題を雲南市ではどう把握して、改善策はどんなものがあると思われますか？	移住・定住/関係人口
三刀屋町	若い女性の市外転出が課題としてあげられていたが、県外だけでなく、松江・出雲への転出対策を！市職員の方でも市外の方が増えていっちゃると。	移住・定住/関係人口
三刀屋町	草刈り応援隊⇒定住につながっているのか。効果はどうか？効果あるなら、全市に広めるべき。	移住・定住/関係人口
三刀屋町	30代の方と話した時に、30くらいで一度将来について見直すので、そのタイミングで声をかけられると帰ってみようかどうしようかと迷うかもと言われた。高校卒業後のつながりの今の取り組みは継続すべきと思う。	移住・定住/関係人口

令和7年度市政懇談会の開催状況

大東会場：6/30日（月） 大東地域交流センター



加茂町会場：7/2日（水） 加茂交流センター



木次町会場：7/24日（木） 木次総合センター



三刀屋町会場：8/7日（木） 三刀屋交流センター



吉田会場：7/30日（水） 田井交流センター



掛合会場：7/2日（水） 掛合交流センター

